

令和2年度農林水産総合センター農業研究所の現況及び今後の方針

1. 運営方針及び重点分野

本県は中四国一の農業県であり、生産される農産物は長年の先進技術の開発によって品質の良さが高く評価されている。しかし、ブランドの確立は一部の品目に留まっており、生産性の向上や儲かる力強い経営体の育成、消費者・実需者ニーズに対応した農産物の供給力強化などが喫緊の課題となっている。このような中、平成26年3月に策定された「晴れの国おかやま生き生きプラン」の中に戦略プログラムとして「攻めの農林水産業育成プログラム」が盛り込まれ、平成28年度に改訂された「新晴れの国おかやま生き生きプラン」においても概ね継承されている。さらに、これを受けて平成30年度に改訂された「21 おかやま農林水産プラン」では、儲かる産業としての農林水産業の確立を目指し、「マーケティングの強化とブランディングの推進」、「次代を担う力強い担い手の確保・育成」、「農林水産業を支える施策」を3本柱として施策を展開しており、特に「ブランディングの推進」では、本県農林水産物の商品価値をさらに高めてブランド化を推進するため、新品種育成や新技術等の開発をさらに加速することとしている。

農業研究所ではこれらの農業施策にそって、研究と業務を展開・運営することとし、次の項目を目指すべきビジョンとしている。

<農業研究所の目指すべきビジョン>

- 1) 儲かる産業としての農業の実現を目指し、「消費者・実需者ニーズに対応した高品質でブランド力の高い新品種の育成」と「高品質安定生産のための新技術の開発」を推進する。
- 2) 安定した農業生産を支える質の高い技術支援を実施する。（優良種苗の供給、病害虫の発生予察等、病害虫・生理障害の診断と対策、等の試験研究関連事業への取り組み）
- 3) 出口を見据えた技術開発集団として地域に貢献し、信頼される研究所を目指す。

研究課題の設定に当たっては、県内農業発展への寄与を前提に出口を明確にして課題に取り組み、基本的には「岡山県農林水産技術連絡会議」において精査した現場からの試験研究要望課題を最重点とする。また、国や大学、企業との共同研究や各種受託研究については上記の前提条件に照らしてその実施を検討する。更に、それらとは別に、将来の新技術開発に繋がる独自のシーズ研究に取り組む。これらを踏まえ、出口を見据えた明確な技術開発目標を掲げるため、各課題の核となる技術視点を以下の重点分野に分類整理して取り組んでいる。

【重点分野】

- ① ブランド力の強化（新品種育成・高付加価値化）
- ② 生産性の向上（省エネ・省力・低コスト化）
- ③ 環境との調和と気象変動への対応（環境負荷低減対策・温暖化対応技術）
- ④ 新しいニーズへの対応

また、優良種苗の供給、病害虫の発生予察等、安定した農業生産のための各種試験研究関連事業や病害虫・生理障害の診断と対策等、生産者や関係機関への技術支援も引き続き実施する。

今後とも、効率的、効果的な新技術・新品種の開発に取り組み、得られた研究成果は農林水産総合センター普及連携部や農業普及指導センター等と連携して積極的に知的財産化するとともに、迅速な普及に努めていく。

重点分野別の主な研究課題(抜粋)

①ブランド力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・「アケボノ」の品種改良 ・モモ、ブドウの新品種育成 ・「くだもの王国おかやま」を彩るイチゴ新品種の育成 ・岡山県の気候に適したリンドウの新品種の育成
②生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンを利用した水稻生育診断の効率化による大規模水田作経営促進 ・モモの低樹高・軽労化栽培技術の開発 ・ブランドいちご生産技術の確立
③環境との調和と 気象変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易被覆栽培ブドウにおける晩腐病の防除対策 ・イチゴの天敵利用栽培における微小害虫防除体系の確立 ・気候変動に強い地域適応性水稻品種の選定 ・「ピオーネ」及び「オーロラブラック」の着色安定技術の開発 ・夏秋雨除けトマト栽培における秋期増収技術の開発
④新しいニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・県産果実のブランド強化と安定供給を目指した鮮度保持技術の開発

2. 組織体制及び人員配置並びに予算配分

(1) 組織体制と事務分掌

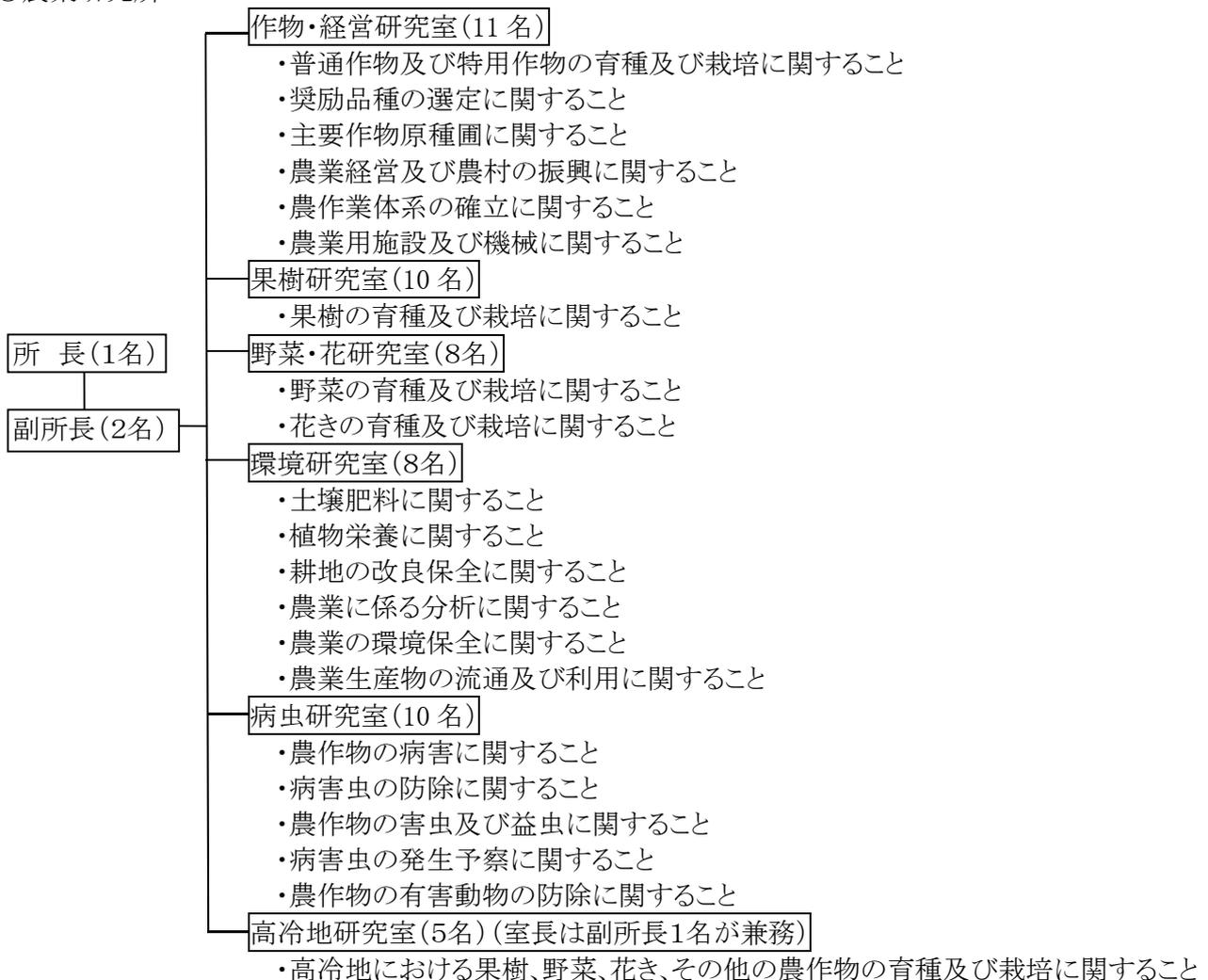
本県の財政状況を踏まえて策定された「行財政構造改革大綱 2008」に基づき、平成 22 年 4 月に農林水産関係研究機関等を統合して岡山県農林水産総合センターが発足し、現在、農業研究所は赤磐市の 5 研究室と真庭市の 1 研究室の、計 6 研究室体制で試験研究を実施している。また、農林水産総合センターに病虫害防除所が併置されており、試験研究と一体的に業務に当たっている。

職員数は 3 次に渡る行財政改革によって減少しており、特に平成 24 年度末で農業技術職（現業職）が廃止となり、農業技術職員が担当していた業務は、平成 25～28 年度には農業技術職から行政職への転任職員 6 名に加え、非常勤職員 4 名（1 年契約）及び外部委託で対応することとした。その後、令和 2 年度までには、転任職員 6 名のうち、5 名が退職となり、残り 1 名と非常勤職員（会計年度任用職員）6 名及び外部委託で対応している。

なお、正規職員数は平成 23 年度の 70 名（研究職 55 名、技術職 15 名）、平成 26 年度の 56 名（研究職 50 名、行政職 6 名）に対して、平成 29 年度は 54 名（研究職 51 名、行政職 3 名）、令和 2 年度は 54 名（研究職 53 名で内 1 名は産学連携推進課兼務、行政職 1 名）となっている。

農業研究所の組織図と事務分掌（令和 2 年度）

○農業研究所



○病虫害防除所（農林水産総合センター併置）

所長（農業研究所長兼務）—— 所員（病虫害研究室兼務）

- ・病虫害の発生予察事業
- ・防除に対する指導及び協力、その他病虫害の防除に関すること他

(2) 予算配分

農業研究所の人件費を除く令和2年度当初の研究予算は、試験研究や各種事業を行う研究費が57,541千円、施設や圃場の維持管理に必要な運営費が53,529千円、施設や備品の整備に用いる施設・備品整備費が38,700千円で、総額149,500千円であり、農業研究所単独での予算は概ね横這い状態を維持している。これは、岡山県の財政状況により一般財源（県費）が年々縮小傾向であることや、外部資金である農業総合助成試験費の獲得が難しい中、「農業研究費（事業費）」として新規重点課題（一般財源）や「農林水産総合センター連携事業促進費」として、各種の研究課題を積極的に獲得していることによる。その結果、研究予算に占める一般財源は52%と約半分であり、国庫が24%、各種団体からの受託費が5%、農業研究所で収穫した農作物を販売した財産収入が20%となっている。人件費は481,899千円（令和元年実績）で、平成28年度以降ほぼ横這い状態である。

外部資金の導入状況は、農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業などの国関連での研究が5件1,982千円、民間受託研究等が5件6,452千円、特別電源科学技術振興補助金の備品整備費が34,529千円で、総額42,963千円（研究予算総額の29%）となっており、特別電源所在県科学技術振興事業補助金は県費での購入が困難な高機能・高精密備品の整備に活用している。

今後とも限られた財源を有効に活用すべく、試験研究課題の選択と集中を一層進めて更なる重点化を図ると共に業務の効率化を図り、外部資金の獲得にも積極的に取り組んでいく。

令和2年度研究予算配分(除人件費)

分類	事項名等	令和2年度予算額				研究対象		備考
		(前年対比)	一般財源	特定財源	(内財産収入)	課題	事業	
研究費	農業総合助成試験費	1,982 (38%)	0	1,982	0	3	2	提案公募型競争的資金など
	農業研究所研究費 (事業費)	49,040 (102%)	26,441	22,599	16,147	35	6	各種研究費、原種圃事業、機器整備など
	農林水産総合センター連携事業促進費 (普及連携部予算)	6,519 (182%)	6,519	0	0	6	0	産学連携推進事業費(外部知見活用、温暖化対策)、県産果実の供給力強化
	(農産課予算)	—	—	—	—	7	2	令達
	計	57,541 (102%)	32,960	24,581	16,147	51	10	
運営費	農林水産総合センター運営費	38,299 (137%)	38,054	245	245	—	—	管理運営費 ※令和2年度は臨時経費で田植え機、パワーショベル計7,858千円を計上
	農業研究所研究費 (運営費)	14,960 (137%)	5,253	9,707	9,707	—	—	圃場管理費、実験農場運営費など
	計	53,529 (128%)	43,307	9,952	9,952	—	—	
施設・備品整備費	農業研究所研究費(事業費)	38,700 (136%)	1,001	37,699	3,170	—	—	文部科学省「特別電源科学技術振興補助金」等
総計		149,500 (118%)	77,268	72,232	29,269	—	—	

(3) 試験研究事業一覧(資料1、2)

令和2年度当初に実施予定の試験研究及び事業は、試験研究が51課題、試験研究関連事業が10課題である。この内、外部評価の対象課題は、外部資金課題、別途審査で採択された課題、品種育成などの継続課題及び関連事業を除き、23課題となっている。

これらの対象課題は、毎年、農業普及指導センターや県庁内農林水産関係部署、県内農業関係団体のほか、広く県民から募集した試験研究要望課題について、岡山県農林水産技術連絡会議農業部会(県庁内部組織)で内容を検討し、新たに試験研究の実施が必要と判断された課題について、外部評価委員会の評価を受けた後、予算化している。なお、平成26年度から試験研究要望課題を広く県民から募集している。

試験研究課題の分類(令和2年度)

分類	形態	研究課題	関連事業	外部評価対象
農研単独課題	予算化	30	6	17
外部資金(国・独法関連)	応募等	3	2	0
外部資金(民間受託)	受託	5	0	0
普及連携部事業	応募等	6	0	4
県庁農産課事業	令達	7	2	2
計		51	10	23

3. 施設・設備等(資料3)

当研究所の本所(赤磐市)は、敷地面積43.8ha(内、試験圃場25.5ha)に52棟の施設(内、温室23棟)を備えている。また、高冷地研究室(真庭市蒜山)は敷地面積4.1ha(同1.7ha)に5棟の施設を備えている。本所は昭和43年に現在地に移転してから52年が経過しており、また、高冷地研究室は平成22年に旧真庭普及指導センター実証班を改組したもので、いずれも施設は老朽化が進んでおり、修繕や整備に要する費用が年々増加している。なお、センター本館の耐震化については、岡山県公共施設マネジメント方針に則り、平成29年度に個別施設計画を策定し、令和元年度に耐震工事を完了した。高冷地研究室は令和2年度に個別施設計画を策定し、令和3年度に耐震工事を実施する予定である。

備品については栽培関連の圃場管理機械の更新に努めると共に、調査分析機器については近年の高性能化に合わせて新規購入や更新に努めている。しかし、厳しい財政状況の下、備品整備にかかる一般財源は急激に減少しており、県費での購入が困難な高機能・高精密備品の整備には文部科学省の「特別電源所在県科学技術振興事業補助金」を積極的に活用している。これにより、最近では農薬登録促進や生理障害対策に必要な植物や土壌の化学分析機器、健全な種子供給に寄与する色彩選別装置、施設園芸作物の高品質安定生産技術開発のための統合環境制御機器等を重点的に整備している。

土地利用概要

1 本所(赤磐市)

区分		面積(ha)
試験圃場	水田作圃場	13.3
	畑作圃場	1.5
	果樹圃場	8.2
	野菜花圃場	2.5
	計	25.5
建物その他		18.3
総計		43.8

2 高冷地研究室(真庭市)

区分		面積(ha)
試験圃場	果樹圃場	0.1
	野菜花圃場	1.6
	計	1.7
建物その他		2.4
総計		4.1

4. 研究成果（過去3年間）

（1）試験研究主要成果（資料4）

試験研究で得られた成果のうち、新技術として直ちに利用できる成果を「技術」、課題解決の一部として活用できる成果を「情報」として分類し、岡山県農林水産技術連絡会議農業部会（前出）で内容を検討した後、「試験研究主要成果」として毎年公表している。過去3年間の成果は果樹が36（技術14、情報22）と最も多く、次いで野菜23（技術7、情報16）、水田11（技術3、情報8）と続き、総計は87（技術30、情報57）に上る（平成26～28年度の128に対して68%）。これらは、ホームページで公表するとともに、農業普及指導センター等の指導機関と連携し、生産現場への迅速な普及に努めている。また、新技術を一般県民に広く伝えるために、ホームページ内に主要成果をより分かりやすくまとめた「主な新技術の紹介」コーナーも設置している。

試験研究主要成果(H29～R元)

年度	区分	共通	水田	畑・転換畑	果樹	野菜	花き	農業経営	年計	
H29	技術	0	1	0	3	3	0	0	7	25
	情報	0	2	0	6	6	4	0	18	
H30	技術	0	2	0	6	1	3	0	12	37
	情報	0	4	2	11	7	0	1	25	
R元	技術	0	0	1	5	3	0	2	11	25
	情報	0	2	2	5	3	0	2	14	
計	技術	0	3	1	14	7	3	2	30	
	情報	0	8	4	22	16	4	3	57	
	総計	0	11	5	36	23	7	5	87	

注：「技術」は直ちに普及に移し得る技術。「情報」は課題解決の一部として活用できる成果

（2）特許等知的財産権の取得・活用状況（資料5）

農業研究所で開発した新品種や新技術は知的財産センターと連携して積極的に知的財産化を進めており、過去3年間では新品種の登録が4件・出願が6件（内2件はモモ2品種の中国出願）、特許権の登録が1件、出願が6件（PCT出願国内移行）となっている。これらを含め、知的財産権等は積極的に現場PRに努めており、特に新品種については利用許諾等を通じて現場への普及と産地化を推進し、令和元年度現在、13品種が約240haで栽培されている。また、新品種については、ブランディングを推進するため商標権の取得にも取り組んでおり、モモ4品種、ブドウ1品種、ナシ1品種、小豆1品種について、日本、中国、台湾、香港で、延べ16件（国内4件、海外12件）の商標権を取得し、6件をシンガポールに出願中である。

（3）成果の技術移転や普及の取り組み状況

1）新技術の普及（資料6）

試験研究で得られた新技術や新品種等の情報は、「試験研究主要成果」を中心に農業普及指導センターや関係機関と連携して現場への迅速な普及に努めており、特に重要な成果は「普及推進新技術」として重点的に推進している。その結果、これまでに開発した主な新技術26件の令和元年度の総普及面積は1,092ha、実施農家数はのべ1,427戸に上っている。

2）各種刊行物、論文、学会・研究会発表など（資料7、8、9）

各種刊行物（試験研究主要成果、農業研究所研究報告、農業研究所研究年報、等）を毎年発刊し、ホームページで公開するとともに、農家及び農業指導者向けの技術情報誌等に研究成果の解説記事等を掲載している（3年間で133件）。さらに、「試験研究主要成果」を学術的な見地から検

証するため、得られた知見を各種学会等に論文発表するとともに（同 26 件）、各種学会発表や学術研究会講演を行い（同 97 件）、各方面からの意見を試験研究にフィードバックしている。

研究成果の解説指導記事掲載や学術発表の件数

年度	解説・指導記事※	研究論文・著書等	学会・研究会発表
H29	45	9	30
H30	44	9	39
R 元	44	8	28
総計	133	26	97

※解説指導記事には一般技術指導を含む

5. 技術相談・指導、普及業務、依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況（過去 3 年間）

（1）技術相談・指導

農家から普及指導センターなどに持ち込まれたが、解明困難であった病害虫や生理障害等について、平成 29～令和元年度の 3 年間で 813 件の診断を行い、原因を確定したものについては対策を指導した。また、農家などからの電話などによる技術的相談は 3 年間で 1,126 件に対応した（HP への問合せ対応を含む）。

診断及び技術相談の件数

年度	診断依頼	技術相談
H29	248	393
H30	277	390
R 元	288	343
総計	813	1,126

（2）普及業務（資料 10）

試験研究に係る普及業務として、基本的に農業普及指導センター等と連携しながら以下のような様々な対応を行っている。これらには平成 29～令和元年度の 3 年間で 155 件、延べ 410 人の職員が当たっている。

- ・農家が組織する現場研究会、研修会における技術的指導などの対応（含、現場研修や視察）
- ・農業普及指導センターや J A 等の指導機関会議における講師や技術的助言
- ・各種行政会議における専門的な立場からの技術的助言や講演
- ・県内各種農業団体の依頼による各種会議、審議会、損害評価等における技術的助言
- ・各種共進会や品評会における審査（もも、ぶどう、トマト、なす、アスパラガス、花き、茶等）
- ・農薬安全指導員などの公的な資格認定における講師
- ・農業大学校における講義（年間のべ 32 回、102 時間）

（3）依頼試験等

岡山県の主要農作物の農薬登録に必要な審査資料を得たり、国や民間育成品種の選抜資料を得るため、3 年間で農薬試験（殺虫・殺菌剤、除草剤、植物調節剤）は 135 件、品種試験（水稻、麦類、モモ、ブドウ、イチゴ、ダイコン等）は延べ 169 品種について実施した。これらは、前出のように外部資金の受託研究課題と位置づけて予算化している（p 4～5 予算配分と試験研究事業一覧参照）。

- ・農薬登録試験等：殺虫殺菌剤、除草剤、植物調節剤の効果と薬害、残留分析試験
- ・品種選抜試験：岡山県特産農作物の国・民間育成品種の選抜試験

依頼試験の件数

年度	殺虫・殺菌剤	除草剤	植物調節剤	品種選抜
H29	28	18	1	61
H30	28	16	1	58
R 元	32	11	0	50
総計	88	45	2	169

(4) 情報提供

前出のように、試験研究主要成果の発信、技術相談、各種普及業務の対応など、求めに応じて各種情報提供を実施している。また、病虫害防除所の予察情報等についても逐次提供しており、これらの多くはホームページでも公開している。

(p 7 技術相談・指導、普及業務、p 8 県民地域への貢献、情報発信の項参照)

6. 人材育成 (資料 11)

地方公共団体に属する試験研究機関の職員として、「試験研究の推進」、「現場指導の援助」、「行政対応の技術支援」の三位一体が求められており、これらに対応するための人材育成に努めている。特に、「試験研究の推進」については、各種学会への出席を奨励するとともに、農林水産省等主催の研究会や研修等に職員を派遣し、また、職場内では試験研究打合せ会議、論文記述や学会発表などの機会を捉えて人材育成に取り組んでいる。一方、「現場指導の援助」や「行政対応の技術支援」に関しては、現場研究会や各種行政会議への積極的な参加や、県主催の職員研修などの受講を奨励している。さらに、農業機械の安全使用研修等を開催し、栽培技術の継承にも努めている。

これらの結果、平成 29～令和元年度の 3 年間で各種学術研究に対して 3 件の外部受賞・表彰を受けると共に、3 件の職員表彰を受けている。なお、平成 29 年 4 月に策定した「試験研究推進構想」で人材育成方針を明記するとともに「岡山農研人材育成指針」を策定し、本県農業技術をリードする能力と資質を備えた人材を育成することとしている。

人材育成における各種研修参加者(延べ人数)

年度	学会	研究会	外部研修会	内部研修会
H29	26	29	15	113
H30	34	33	25	162
R 元	19	59	8	104
総計	79	121	47	379

7. 他機関との連携 (資料 12)

近年の試験研究領域の広域化や専門化に伴い、異分野を含めた多くの研究機関や大学または民間団体との交流や連携を推進しており、特に農林水産総合センター内の 5 研究機関や国関連機関との共同研究を積極的に実施している。また、岡山県産学官包括連携協定（岡山大学、岡山県農業協同組合中央会、岡山県の三者）に基づく共同研究や共同研修会の実施、民間企業との共同研究にも参画しており、これらの結果、現在、実施している共同研究は 11 課題（令和 2 年度）に上る。

8. 県民・地域への貢献

(1) 県民・地域への貢献状況

県民や地域に広く開かれた農業研究所を目指し、以下のような活動を実施している。

- ・ 県民や関係団体の各種視察の受け入れ（3 年間で 162 件、3,640 名）（資料 13）
- ・ 科学キッズフェスティバル（生涯学習センター主催）への参画
- ・ 地元中学校の職場体験への協力・受け入れ（毎年数名、3 日間）
- ・ 県内高校生に試験研究出前講座を開催（毎年数講座提案）
- ・ 地元大学生のインターンシップの受け入れ（毎年数名募集、令和元年度実績 2 名）
- ・ 農林水産総合センター普及連携部と連携し、農林水産総合センターフェア（一般公開、10 月）や、技術をわかりやすく伝えるランチタイムセミナーを開催（県庁ロビー、年数回）

(2) 情報発信

1) 報道での情報発信 (資料 14)

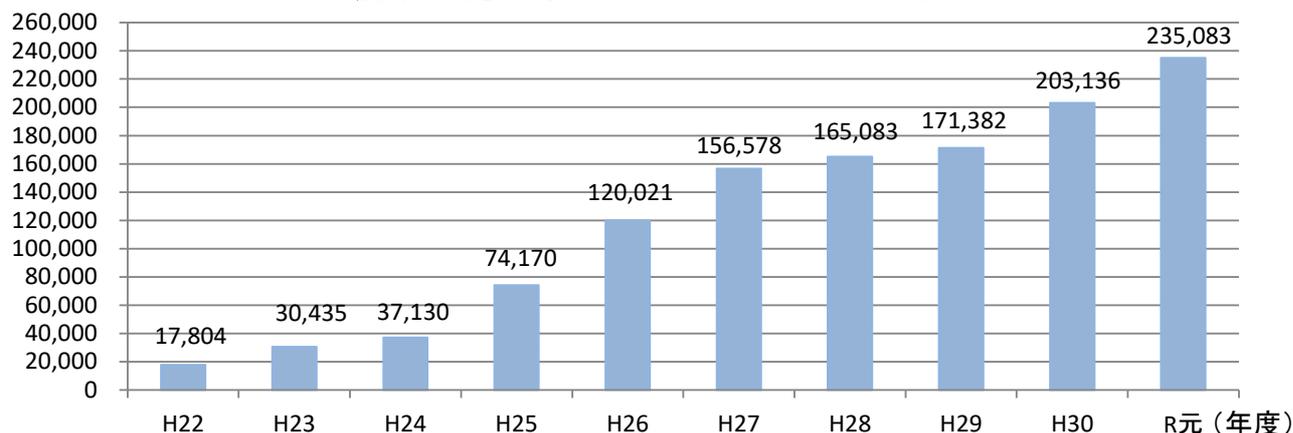
研究所の概要や試験研究成果等を広く県民にお知らせするため、報道機関の取材を積極的に受けると共に、新聞の技術情報欄などへの執筆を行っている。この結果、平成 29～令和元年度の 3 年間で新聞報道は 104 件、テレビやラジオでの放送は 17 件配信された。

2) ホームページでの情報発信 (資料 15)

農業研究所からの情報発信は、基本的媒体としてホームページの活用に重点を置いている。ホームページには、試験研究成果や研究論文等の専門知見の公表は元より、広く県民に広報するため、研究成果をわかりやすく解説した「主な新技術の紹介」や視察状況等を紹介する「視察・研修会の報告」、また「農研トピックス」としてタイムリーな試験や栽培管理の状況、映像を紹介する欄を設けている。これらの改善の結果、令和元年度のアクセス数は約23万5千件で、平成25年度の約3.2倍、平成28年度の約1.4倍と増加している。

(件)

農業研究所ホームページのアクセス数



3) 展示イベント出展

農業研究所が育成した新品種や開発した新技術等について、産学連携推進課と協力して、おこやまテクノロジー展（岡山市）やアグリビジネス創出フェア（東京都）に出展し、県内外にPRを行った。

9. 前回指摘事項への対応

(1) 運営方針及び重点分野

<指摘事項>

- ・今後とも、地球温暖化に伴う気象変動の常態化等に対応した、中長期的な視点での作物への対応も期待する。
- ・新規参入者等担い手が取り組みやすい生産技術・品種開発の研究に期待する。

<対応状況>

- ・農業研究所では、試験研究推進構想の中で、「気象変動への対応」を研究開発の重点分野の1つに掲げており、各作物の品種育成や品種選定、栽培技術開発において、気象変動の中でも高品質安定生産を可能にするための研究を続けている。
- ・担い手が取り組みやすい農業技術として、スマート農機やICT機器を活用した省力的な圃場管理や生育診断技術の開発、省力・軽労化を目指したモモの低樹高化を基軸とする新しい栽培技術の開発等に取り組んでいる。

(2) 組織体制、及び人員配置並びに予算配分

<指摘事項>

- ・領域横断的、多角的な研究に取り組める、適切な人員配置、体制整備の強化も期待する。

<対応状況>

- ・問題解決に領域横断的な技術が必要な場合には、研究室間や他機関との共同研究を積極的に行うなど、県の施策に則した農業研究所の運営や研究の方針を中長期的観点から整理した試験研究推進構想のもと、今後とも業務の効率化と試験研究課題の重点化を図りながら、人員配置と予算配分に努め、各種試験研究成果に結びつけていきたい。

(3) 施設・設備など

<指摘事項>

- ・今後とも計画的な圃場管理機械や調査分析機器の新規購入や更新の継続が必要。
- ・今後役割が益々重要となる高冷地研究室の試験圃場の面積拡大を望む。
- ・建物の耐震化について、早急な検討が望まれる。

<対応状況>

- ・施設整備に関しては、厳しい財政状況の下、県庁主務課、センター総務課と協議しながら、試験研究に支障が生じないように修理や更新に努めている。特に備品に関しては、特別電源科学技術振興補助金を活用するなど、研究に必要な高精度な分析機器や計測機器等を整備している。
- ・高冷地研究室の試験圃場については、現状の面積の中で、今後とも試験の目的に応じて効率的な利用に努めたい。
- ・センター本館の耐震化工事は、令和元年度に完了した。高冷地研究室の建物の耐震化については、令和2年度に設計、3年度に施工の予定である。

(4) 研究成果

<指摘事項>

- ・今後とも、農業普及指導センターや関係機関と密に連携し、研究成果の現地への普及を促進していただきたい。
- ・研究論文・著書が減少傾向にあるが、増加への取組を期待する。

<対応状況>

- ・普及部門及び県の関係機関とは、毎年3月に当年度の試験研究主要成果候補の内容ををプレゼン形式で検討後、5月の岡山県農林水産技術連絡会議農業部会で精査した後、農業研究所のホームページで公表するとともに、新聞、雑誌等に積極的に紹介している。また、普及指導員研修等で成果の内容を視察する機会も設けるなど、普及指導センターが遅滞なく研究成果を現地普及できるよう努めている。さらに、平成29年度からは、同農業部会の場で、これまでに得られた研究成果について、現場普及上の課題、各機関の役割分担、具体的な普及方法などを協議する場を設けて、成果の普及促進に努めている。
- ・研究成果の取りまとめや各種研究会、学会などでの発表を職員全体及び個別に勧奨するとともに、所内で論文執筆のための研修会を開催し、自己研鑽を促している。

(5) 技術相談・指導、普及業務、行政検査、依頼試験、情報提供等の実施状況

<指摘事項>

- ・関係機関との連携による「オール岡山」の農業相談窓口組織を開設してはどうか。

<対応状況>

- ・県民からの直接的な営農相談や栽培技術に関する問合せについては、県内9か所の普及指導センターが中心的役割を担っているが、必要に応じて連携し、農業研究所も回答への支援を行っている。また、岡山県ホームページでは、各課、各機関のサイトにおいて、問合せフォームを設けて、多様な問合せに即時対応するほか、適宜、電話、面会などでも相談に対応している。なお、営農上問題となる農作物の生育障害の診断業務に関しては、現場で診断が難しいものについて、農林水産総合センター普及推進課を窓口として診断を行い、対応策を回答するシステムを構築している（年間約200件）。

(6) 人材育成

<指摘事項>

- ・引き続き、「岡山農研人材育成指針」に則り、人材の育成に努めていただきたい。
- ・県内農業の現状を学べるような実践的な現場研修を拡充させてはどうか。

<対応状況>

- ・農業研究所では、平成29年4月に定めた試験研究推進構想に基づく人材育成指針に則り、各種研修会や研究会への積極的な参加を推進している。また、農林水産省主催の各種研修等への積極的な派遣や人材育成に係る独自研修を実施し、中長期的な人材育成を図ることとしている。今年

度は、指針に基づく運用をさらに発展させ、農業研究所内で人材育成（研修）担当職員を定め、特に若手職員の人材育成のための各種研修を企画、開催している。

- ・普及推進課が若手普及員を対象に行う専門技術研修に農業研究所の若手職員も受講できる体制を取っており、県内産地の現状や課題を学ぶこととしている。

（7）他機関との連携

＜指摘事項＞

- ・今後、研究資源の先細りの中で、多くの研究ニーズに応えていくため、一層の連携強化を期待する。
- ・岡山大学だけでなく、他の大学や研究機関との連携が望まれる。

＜対応状況＞

- ・農林水産総合センター内の各研究所は元より、岡山県の研究機関で構成する岡山県立研究機関協議会において岡山県立大学等との積極的な連携を図っている。また、農研機構、他県の研究機関や大学との連携により一層努め、共同研究にも応募し、課題解決に向けて幅広い人材の活用、競争的資金の獲得につなげている。

（8）県民・地域への貢献

＜指摘事項＞

- ・農家や就農希望者、将来の担い手となる若者・子どもたちなど、ターゲットを絞り込み、より濃密な内容のPR活動を実施してはどうか。

＜対応状況＞

- ・県内の農業高校生や岡山大学農学部新入生を対象に研究成果や栽培現場の視察研修を行うほか、農産課担い手班と協力して、新規就農者や就農を志す研修生の実務研修を受け入れて、本県オリジナル品種の栽培技術や研究成果の実践的な活用場面を学ぶ機会を提供している。

資 料

- 資料 1 令和 2 年度 農業研究所試験研究課題体系図
- 資料 2 試験研究関連事業一覧
- 資料 3 農業研究所の主な施設・備品
- 資料 4 試験研究主要成果一覧（平成 29～令和元年）
- 資料 5 農業研究所の知的財産普及状況
- 資料 6 農業研究所が開発した主な新技術普及状況
- 資料 7 解説・指導記事一覧（平成 29～令和元年）
- 資料 8 発表論文等一覧（平成 29～令和元年）
- 資料 9 学会・研究会発表一覧（平成 29～令和元年）
- 資料 10 技術普及のための研究会・研修会などへの対応（平成 29～令和元年）
- 資料 11 受賞・表彰（平成 29～令和元年）
- 資料 12 農業研究所における共同研究実施課題（令和 2 年実施中）
- 資料 13 視察受入状況（平成 29～令和元年）
- 資料 14 新聞掲載記事（平成 29～令和元年）
- 資料 15 農業研究所ホームページ

農業総合助成試験費・試験研究3課題、関連事業2課題)

指定試験受託事業(試験研究3課題、関連事業2課題)

- *農地土壌炭素貯留等基礎調査事業(H25~R2) (環境研)
- *「農畜産物及び土壌中放射性核種のバックグラウンドレベルの監視」に係る試料採取業務(H27~) (環境研)
- ・イチゴ育成系統評価試験(H28~) (野菜・花研)
- ・ダイコン育成系統評価試験 (H29~R3) (高冷地研)
- ・海外植物遺伝資源の民間等への提供促進 (H30~R4) (野菜・花研)
- ・果樹等の幼木期における安定生産技術の開発 (R2~R6、農林水産研究推進事業に応募中、果樹研、環境研、病虫研)
 - ・良質苗木の安定生産技術の開発 (果樹研)
 - ・急性枯死症状の発生要因の解明と対策技術の開発 (病虫研、果樹研、環境研)

農業研究所研究費：試験研究35課題、関連事業6課題

特別研究(試験研究1課題)

- ・バイオテクノロジー利用による地域特産品種の育成とクローン種苗大量増殖法の確立 (H7~継続)
 - リンドウ優良親株の維持とクローン増殖(野菜・花研)
 - 遺伝子解析による病害虫診断(病虫研)

一般研究(試験研究26課題)

作物・経営研究室

- ・ブランド米「アケボノ」の安定多収生産技術の確立(H28~R2)★
- (新)「おかやま黒まめ」の黒マルチ栽培におけるトラクタガイダンスを利用した省力作業体系の確立 (R2~R4)★
- ・麦栽培における除草剤抵抗性スズメノテッポウ総合防除体系の確立(R元~R3)★
- (新)・水田農業における次世代への経営継承課題の解決策の確立 (R2~R4)★

果樹研究室

- ・果樹新品種の育成 (S56~継続)
- ・果樹導入品種の選定 (S42~継続)
- ・モモのオリジナル新品種の高品質安定生産技術の確立 (H24~R2)★
- (新)・ブドウ新品種の安定生産技術の確立(R2~R6)★
- ・加温栽培「シャインマスカット」の高糖度・高品質安定生産技術の確立(H28~R2)★

野菜・花研究室

- ・アスパラガスの優良品種選定と早期立茎による安定生産技術の開発 (H29~R3)★
- ・「くだもの王国おかやま」を彩るイチゴ新品種の育成(H26~継続)
- ・天候対応型炭酸ガス施用による施設栽培ナス多収技術の確立 (R元~R3)★
- ・特産花き新品種の育成 (H30~継続)

環境研究室

- ・樹勢の客観的評価に基づく「おかやま夢白桃」の安定生産技術の確立 (H29~R3) (果樹研究室と共同)★
- ・水田土壌における硫黄欠乏の実態解明と対策技術の確立 (R元~R3)★
- ・水田転換畑における野菜安定生産のための排水対策技術選択手法の確立(R元~R3)★

高冷地研究室

- ・準高冷地での「シャインマスカット」安定生産技術の確立 (R元~R3)★
- ・準高冷地に適した加工・業務用キャベツ安定生産技術の確立 (R元~R3)★
- ・岡山県の気候に適したリンドウ新品種の育成 (H29~継続)

現地緊急・予備試験

- 水稲・麦類作況試験 (S48～継続) (作物・経営研)
- 画像解析によるモモ樹体の隔測技術の開発 (H30～R2) (果樹研)
- (新) 新樹形によるモモの低樹高・軽労化栽培技術の開発 (R2～R6) ★
- ナシ「晴香」の生育、果実品質及び栽培性の検討 (R元～継続) (果樹研)
- スイートピーの高品質・安定生産技術の確立 (R元～R2) (野菜・花研)
- モモ急性枯死症状の発生要因の解明と対策の検討 (H30～) (病虫研、環境研)
- 県オリジナル品種安定供給事業 (H28～継続) (高冷地研)

特別事業(試験研究5課題、関連事業1課題)

- *特産作物の遺伝資源管理(ジーンバンク)事業 (H3～継続) (野菜・花研究室他関係研究室)
- 水稲・麦類新除草剤実用化試験 (H11～継続) (作物・経営研)
- 植物調節剤実証試験 (H11～継続) (果樹研)
- 農作物病虫害の効率的防除薬剤の実用化試験 (H11～継続) (病虫研)
- 全農肥料委託試験(継続) (環境研)
- 全農農薬委託試験(継続) (病虫研)

一般事業(関連事業5課題)

- *バレイショ原種圃事業 (S16～継続) (野菜・花研)
- *病虫害・生育障害の診断と対策指導 (H13～継続) (環境研、病虫研)
 - 土壌に起因する生理障害の原因究明と対策 (環境研)
 - 病虫害による障害の原因究明と対策 (病虫研)
- *主要農作物品種試験(水稲、麦類、大豆) (S28～継続) (作物・経営研)
- *主要農作物原種圃事業(水稲、麦類、大豆、小豆) (M42～継続) (作物・経営研)
- *土壌機能増進対策事業(環境研)
 - 土壌機能実態モニタリング調査 (S54～継続)
 - 化学肥料・堆肥等の適正使用指針策定調査 (H12～継続)

重点研究(試験研究2課題)

- ドローンを利用した水稲生育診断の効率化による大規模水田作経営促進事業 (R元～R3) ★
(作物・経営研、環境研)
- 農作物障害診断アシストシステム開発事業 (R元～R3) (病虫研) ★

実験農場運営費(試験研究1課題)

- 実験農場における水田農業の総合的実証試験(H24～) (作物・経営研)

試験研究:38題(新規4課題、継続34課題)、試験研究関連事業:8課題(継続8課題)

注: ・は試験研究課題、*は試験研究関連事業課題を示す。

★は外部評価対象課題

応募中の課題は、課題数にカウントしていない

農業研究所別途予算

普及連携部(農総七連携事業促進費:試験研究6課題)

産学連携推進事業費(試験研究4課題)

外部知見活用型・産学官連携研究事業

- 新・モモ収穫期を予測するDNAマーカーの開発(R2~R4)(果樹研)
- 新・高精度な土壌水分制御を実現するスマート化で、一層輝く岡山ブランドナス(R2~R3)(野菜・花研)

農林水産分野における温暖化対策研究強化事業

- 気候変動に強い地域適応性水稻品種の選定(H29~R3)(作物・経営研)★
- 夏秋雨除けトマト栽培における秋期增收技術の開発(H29~R3)(高冷地研)★

県産果実の供給力強化に繋がる新技術開発事業(試験研究2課題)【重点事業】

- 新・「ピオーネ」及び「オーロラブラック」の着色安定技術の開発(R2~R4)(果樹研、高冷地研)★
- 新・県産果実のブランド強化と安定供給を目指した鮮度保持技術の開発(R2~R4)(環境研、作物・経営研)★

農産課(安全・安心な農産物の生産流通対策費:試験研究1課題)

黒大豆枝豆産地力強化対策事業費(試験研究1課題)

- 枝豆新品種の栽培技術の確立とブランディング対策(R元~R3)(作物・経営研、環境研)★

農産課(園芸作物生産振興対策費:試験研究1課題)

冬を彩る「くだもの王国おかやま」いちごプロジェクト事業費(試験研究1課題)

- ブランドいちご生産技術の確立(H30~R2)(野菜・花研)★

農産課(農薬安全対策費:関連事業1課題)

農薬安全使用対策費(関連事業1課題)

- *農業用水調査事業(S60~継続)(環境研)

農産課(病害虫等防除総合対策事業費:試験研究5課題、関連事業1課題)

病害虫発生予察事業費(関連事業1課題)

- *病害虫発生予察事業(S16~継続)(病虫研、高冷地研)

病害虫防除農薬環境リスク低減技術確立事業費(試験研究2課題)

- 主要病害虫の薬剤感受性の実態解明と有効薬剤の選抜(28~継続)(病虫研)
- イチゴの天敵利用栽培における微小害虫防除体系の確立(R元~R3)(病虫研)

難防除病害虫防除技術確立事業費(試験研究3課題)

- マイナー作物等病害虫防除対策事業(H19~継続)(環境研、病虫研)
- 簡易被覆栽培ブドウにおける晩腐病の防除対策(H30~R2)(病虫研)
- 施設ブドウのコナカイガラムシ類防除体系の確立(H30~R2)(病虫研)

試験研究:13課題(新規4課題、継続9課題)、試験研究関連事業:2課題(継続)

注:・は試験研究課題、*は試験研究関連事業課題を示す。

★は外部評価対象課題

試験研究関連事業一覧

事業名	事業内容
1. 主要農作物原種圃事業	農作物の生産や品質の改善のためには優良な種子の確保・普及が極めて重要である。特に基幹作物である水稻、麦類、大豆奨励品種の原原種、原種生産は、岡山県では「岡山県稲、麦類及び大豆の種子供給に係る基本要綱」(平成 30 年3月制定)により、知事が取り組むとされており、明治 42 年から農業研究所が担当している。令和2年現在、水稻9品種、麦類3品種、大豆2品種について実施している。
2. 主要農作物品種試験	岡山県の水稲、麦類、大豆等主要農作物の奨励品種は「岡山県稲、麦類及び大豆の種子供給に係る基本要綱」(平成 30 年3月制定)で知事が決定すると定められており、岡山県では昭和 28 年から農業研究所が調査を実施している。消費者ニーズに合致する、安定・多収で栽培しやすい品種を選定するため、令和2年度は水稻 29 品種、麦類 21 品種、大豆3品種について実施している。
3. バレイショ原種圃事業	県内にバレイショの優良な原種を増殖・配布するのは「ばれいしょ原原種及びさとうきび原原種配布要綱」に基づき都道府県が行う事業である。現在、種苗生産は、岡山県馬鈴薯採種農協に委託している。
4. 特産作物の遺伝資源管理(ジーンバンク)事業	伝統野菜等の県内の在来種をはじめとして、本県が育成した品種・系統等の遺伝資源(種子、栄養体)を保存し、将来の新品種開発の素材等に活用する。現在、作物 929 点、果樹 242 点、野菜 348 点、花 107 点を保存している。
5. 病虫害発生予察事業	「植物防疫法」に基づき、病虫害による損害を未然に防止することを目的として、病虫害の発生状況などを調査して発生と被害を予察し、発生予察情報を関係機関に提供する。各道府県の病虫害防除所で実施しているが、岡山県では農林水産総合センターに併置されており、15 品目 155 病虫害について実施している。
6. 病虫害・生育障害の診断と対策指導	農業普及指導センターを通じて持ち込まれた被害作物を迅速に診断し、原因を特定して普及指導センター等を通じて防除指導する。最近では、毎年 200 件程度の診断・指導実績がある。
7. 土壌機能増進対策事業	安全な農産物を安定的に生産するためには、堆肥等を活用した適切な土壌管理により、土壌機能の増進を図ることが重要である。そこで、県内の代表的産地について毎年2~3集団、20~30 地点/集団の土壌診断および土壌管理状況の調査を行い、土壌管理上の問題点を明らかにするとともに適正な土壌管理指針を示す。
8. 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	農地からの温室効果ガスの発生を削減するため、農地管理方法の違いが土壌の炭素蓄積量に及ぼす影響を調査している。調査地点数は 81 地点で4年に1回調査している。
9. 農業用水調査事業	児島湖の水質改善を目的として、児島湖周辺における笹ヶ瀬川水系、倉敷川水系について農業用水の水質と残留農薬を調査する。
10. 「農畜産物及び土壌中放射性核種のバックグラウンドレベルの監視」に係る試料採取業務	国が外国の核実験、原子力施設等に起因する放射能の影響を調査するため、国からの委託により放射性核種データ分析用の農産物(米、麦)及び土壌試料を採取する。全国 15 か所で実施している。

農業研究所の主な施設

1 本所(赤磐市)

名称	数量	構造	面積(m ²)	活用状況
本館	1	鉄筋コンクリート造4階建	3,269	事務室、実験室、測定室、分析室等
低温加工試験室	1	鉄骨造スレート葺平屋建	282	食品加工実験
土壌診断室	1	鉄筋コンクリートブロック造	119	土壌診断
公害ガス接触室	1	ブロック造スレート瓦葺平屋建	87	化学分析
試験調査作業室	8	鉄骨造スレート葺平屋建	1,786	各種調査、原種の調整、機械修理等
ライスセンター	1	鉄骨造スレート葺平屋建	325	ライスセンター
農場整備員室	1	鉄骨造スレート葺平屋建	132	休憩室
機械格納庫	6	鉄骨造スレート葺平屋建	567	農業機械保管
機材、肥料、薬品庫	1	鉄骨造スレート葺平屋建 他	430	農機具、肥料、農薬保管
原種倉庫	1	鉄骨造スレート葺平屋建	161	原種保管
温室	1	鉄骨造プラスチック葺平屋建	1,077	果樹、野菜、花等の栽培試験
	22	鉄骨造ガラス葺平屋建	3,509	
天敵飼育・増殖施設	2	木造スレートガラス瓦葺平屋建他	178	昆虫実験
堆肥舎	2	鉄骨造スレート葺平屋建 他	150	堆肥作成と保管
用土調製室	2	鉄骨造スレート葺平屋建 他	159	野菜、花用培土作成
培養室	1	ブロック造陸屋根葺平屋建	96	植物生理実験

2 高冷地研究室(真庭市)

名称	数量	構造	面積(m ²)	活用状況
事務、研究棟	1	鉄骨造瓦棒葺平屋建	241	事務所、分析室、顕微教室等
作業棟	1	鉄骨造瓦棒葺平屋建	97	調査室
	1	木造トタン葺平屋建	198	作業室
倉庫	1	ブロック造セメント瓦葺平屋建	40	肥料等諸資材置場
機械庫	1	鉄骨造スレート葺平屋建	64	機械庫

農業研究所の主な備品

区分	備品
圃場管理機器	トラクター、田植機、耕耘機、コンバイン、種子用コンバイン、籾摺機、掘削機械(草刈りアタッチメント付)、乗用型バロネス草刈機、トラクター前装式草刈機、蒸気土壌消毒器、スピードスプレーヤー、ブームスプレーヤー、種子用遠赤外線乾燥機、チップパーシュレダー、ボイラー、小型ホイールローダー、ショベルホイールローダー、土壌改良機グロースガン、ベルト式フルカラーデジタル穀類選別機、ビニルハウス用複合環境制御装置、水田転換畑用土壌理化学性同時多圃場モニタリング装置、生育観測用ドローン
土壌・化学分析機器	ドラフトチャンバー、味度測定装置、フルーツセレクター(非破壊糖度計)、分光測色計、味認識装置、ガスクロマトグラフ装置、液体クロマトグラフ装置、炭素・窒素測定装置、分光光度計、高速処理比色分析装置、高周波プラズマ発光分析装置、近赤外線分析装置、におい嗅ぎガスクロマトグラフ質量分析計、CEC全自動汎用抽出・ろ過装置、高性能高速液体クロマトグラフダンデム質量分析計、全自動元素分析装置
生物学遺伝子分析機器	蛍光X線分析装置、高速冷却遠心機、アクアテックアナライザー、リアルタイムPCR装置、マルチビーズショッカー、電気泳動装置
その他実験測定機器等	電気泳動装置、滅菌装置、超低温フリーザ、細胞融合装置、電子顕微鏡(透過型、走査型)、ミクロトーム、気象観測システム、光合成蒸散測定装置、温度データ集録装置、人工降雨装置、病原菌接種用高湿度環境制御庫、植物人工育成装置、天敵・害虫生態解明用多連装恒温恒湿室、幹内樹液流量測定(サップフロー)システム、フローサイトメーター、青果物鮮度維持装置

平成 29 年度試験研究主要成果一覧（25 課題）

注：（技術）新技術として直ちに利用できる成果
（情報）問題解決の一部として活用できる成果

○水田作部門

1. 「朝日」の脱粒性を改良した、水稻新品種「朝日SR1号（仮称）」の育成（技術）
2. 水稻「アケボノ」で回避すべき倒伏の程度とその目安となる稈長（情報）
3. 湛水直播栽培における飼料用米「中生新千本」の安定多収に適した全量基肥用肥料（情報）

○果樹部門

1. モモ新品種「白露」の無摘蕾、予備摘果省略による省力的栽培（技術）
2. モモ新品種「白露」の食べ頃の判断基準（情報）
3. 「ひだ国府紅しだれ」台を用いたモモ樹の作業性（情報）
4. 受粉用モモ花粉の発芽率を高めるための長期冷凍貯蔵条件（情報）
5. 加温栽培「シャインマスカット」における果房の受光程度が糖度に及ぼす影響（情報）
6. 施設栽培「シャインマスカット」の結実安定のための花穂整形方法（技術）
7. 「オーロラブラック」の大房を回避する果房管理方法（技術）
8. 準高冷地の簡易被覆栽培「オーロラブラック」の無核肥大処理は2回処理が適する（情報）
9. ナシ新品種「晴香」の香りの特徴（情報）

○野菜部門

1. 莢に茶しみ症が出ない枝豆用黒大豆新品種「岡山SYB1号」の育成（技術）
2. コンテナ集荷に適するMA包装資材を用いた黒大豆枝豆の鮮度保持効果（情報）
3. 有効薬剤と耐病性品種の組合せによるキュウリ褐斑病の防除効果（技術）
4. 展着剤を加用したペンコゼブフロアブルのキュウリ果実汚れ軽減効果（情報）
5. 雨除け栽培トマトの放射状裂果軽減のためのフルメット液剤の効率的な散布（情報）
6. ナス促成栽培での日焼け果の発生は土壤の乾燥を避けることで軽減される（情報）
7. 良食味キャベツ「牛窓甘藍」の収穫条件（情報）
8. 牛ふん堆肥連用圃場の畝は大雨でも崩れにくい（情報）
9. 県北部のリーキの大苗深植え栽培で安定生産が可能な苗質及びその育苗法（情報）

○花き部門

1. 8月出荷作型の夏秋小ギク品種の花蕾数増加効果が高い再電照前の自然日長期間（情報）
2. 夏秋小ギクの電照と再電照時期の制御による高品質切り花の9月高需要期出荷技術（情報）
3. 秋期の夜間冷房によるスイートピーの落蕾軽減（情報）
4. 冷房育苗における播種後プライミングによるブルーレースフラワーの出芽促進（情報）

平成 30 年度試験研究主要成果一覧（37 課題）

○水田作部門

1. 水稻「アケボノ」の安定多収生産を実現するための生育指標と管理のポイント（技術）
2. 水稻「アケボノ」の精玄米収量700kg/10aの目安となる収量構成要素（情報）
3. 水稻「アケボノ」の倒伏の危険性を出穂前に判断する方法（情報）
4. 水稻「アケボノ」における安定多収の実現に適した追肥時期（情報）

5. 5月下旬～6月初旬移植の水稻「きぬむすめ」における食味重視の施肥方法（技術）
6. 飼料用米「中生新千本」、「アケボノ」の移植栽培での安定多収に適した肥料の選定（情報）

○畑・転換畑作部門

1. 麦作の安定多収生産を実現している大規模水田作経営体の作業体系（情報）
2. 麦作の安定多収生産を実現する効率的な耕起・播種体系（情報）

○果樹部門

1. モモ「白皇（岡山PEH7号）」を大玉化する着果管理技術（技術）
2. 所得を最大化するモモの品種組合せモデル作成支援ツール（技術）
3. モモ新品種「白皇」、「白露」の導入効果の試算（情報）
4. モモ台木「ひだ国府紅しだれ」実生苗の安定生産のための発芽・育苗方法（技術）
5. モモのおいしさの数値化（情報）
6. 岡山県産モモのおいしさ（味、食感、香り）の特長の視覚化（情報）
7. 12月上旬まで樹上保持した「シャインマスカット」の果実の特長（情報）
8. 花穂の開花時期で判断する加温「シャインマスカット」の果実品質低下の回避技術（技術）
9. 「シャインマスカット」の1月下旬加温で新梢を順調に伸長させるシアナミド剤の処理（技術）
10. 市場で有利な8月下～9月下旬出荷の「シャインマスカット」の5kgコンテナの出荷規格（情報）
11. 準高冷地における簡易被覆栽培「シャインマスカット」の生育特性（情報）
12. 簡易被覆栽培のブドウ「オーロラブラック」で摘粒や摘房の目安となる果粒肥大予測（情報）
13. 適正な着果管理のためのブドウ「オーロラブラック」の簡易な葉面積推定方法（技術）
14. ブドウの味、食感の数値化（情報）
15. ブドウのおいしさ（味、食感、香り）の特長の視覚化（情報）
16. 皮ごと食べた時のブドウ「オーロラブラック」の味、食感の特長（情報）
17. 岡山県産モモとブドウのおいしさのPR資料と素材集の作成（情報）

○野菜部門

1. アスパラガスの有望品種、全雄系「ゼンユウガリバー」（情報）
2. 露地ナス栽培後期の整枝管理による日焼け果等褐変障害の発生回避（情報）
3. 露地及び促成ナス圃場における天敵温存植物の最適な植栽位置（情報）
4. ミナミキイロアザミウマによる露地ナスの果実被害を抑える土着天敵密度（技術）
5. 電動散布カップによるトマト放射状裂果軽減のためのフルメット液剤の効率的散布法（情報）
6. 岡山県の夏秋トマトにおける薬剤耐性灰色かび病菌の発生状況（情報）
7. 蒜山地域に適したダイコン品種「NIKURA」（情報）
8. 蒜山地域に適したミニダイコン品種「四季姫2号」（情報）

○花き部門

1. ラークスパー青花新品種「B7Aア」の育成（技術）
2. ラークスパー白花新品種「SW55-3-2」の育成（技術）
3. 6月下旬から開花するリンドウF1青花極早生新品種「岡山RND4号」の育成（技術）

○農業経営部門

1. 中山間地域における条件不利農地の貸借の現状と課題（情報）

令和元年度試験研究主要成果一覧（25課題）

○水田作部門

1. 水稻の全量基肥栽培に利用できる混合堆肥複合肥料を開発（情報）
2. 児島湖流域内の約6割の水田でリン酸やカリウムが少ないL字型肥料が適する（情報）

○畑・転換畑作部門

1. 黒大豆マルチ栽培の梅雨明け以降の畦間灌水は生育を旺盛にし、子実収量を向上させる（情報）
2. 転換田での飼料用トウモロコシの二期作栽培における適正な肥培管理法（技術）
3. 転換田の飼料用トウモロコシ栽培では地下水位が低いほどロール収量が多い（情報）

○果樹部門

1. モモ「白皇」は花粉採取源としても活用できる（技術）
2. 現地圃場におけるモモ台木「ひだ国府紅しだれ」の評価（情報）
3. モモの摘果、収穫時間及び作業負荷における高所作業機導入の有用性（情報）
4. 加温栽培「シャインマスカット」の支梗矯正処理による房形の改善（技術）
5. 植物成長調節剤を利用した「シャインマスカット」の房形の改善方法（技術）
6. 簡易被覆栽培「シャインマスカット」の無核化のためのストレプトマイシン処理適期（情報）
7. ブドウ「オーロラブラック」のホルモン処理には一回処理が適している（技術）
8. ブドウ「オーロラブラック」の芽座を維持するための2芽せん定とシアナミド処理（技術）
9. 「ピオーネ」に環状はく皮を行うと、果肉の軟化や脱粒の危険性が高まる（情報）
10. 「シャインマスカット」を秋冬期まで樹上保持すれば高品質な果実が生産できる（情報）

○野菜部門

1. 腐植含量の少ない圃場での有機物連用による促成栽培ナスの日焼け果の発生抑制（情報）
2. 露地普通栽培ナスの収量性における台木品種間差異（情報）
3. 夏秋雨除けトマト栽培で秋期の増収に有利な穂木・台木の組合せ（情報）
4. 岡山県の露地栽培アスパラガスにおけるトンネル被覆の増収効果（技術）
5. キャベツ、ハクサイ栽培に利用できる堆肥入りの全量基肥用肥料を開発（技術）
6. 県内で発生している薬剤耐性トマト灰色かび病菌に対する有効薬剤の選抜（技術）

○農業経営部門

1. 「水田の用水・水路・畦畔管理等における基本情報」の記入マニュアルの作成（情報）
2. 岡山県における畦畔管理の特徴と課題（情報）
3. 「岡山県版広域連携マニュアル&事例集」の作成（技術）
4. 広域連携向け「農業機械の稼働状況の見える化ツール」の作成（技術）

農業研究所の知的財産普及状況

資料5

1 育成者権（登録・出願品種）

作物名	品種名称	登録年月日	特 徴	利用許諾	普及状況等(R元)
稲	あかおにもち	H18.7.13	珍しい赤い糯(もち)米	○	80a
黒大豆	岡山SYB1号	H30.5.31 (出願中)	岡山系統1号より約10日早熟で、茶しみ症が出にくい枝豆用品種	○	令和2年度から栽培開始
あずき	夢大納言	H18.7.13	加工適性が高く、県南部でも栽培しやすい	○	2.3ha(高梁市を中心に)
	岡山ADZ1号 【備中夢白小豆】	H29.4.12 【H29.9.29】	栽培しやすく大粒、多収で、製あん適性が優れる	○	6.5ha
もも	白麗	H11.7.21	果皮白色、肉質と食味が優れる晩生品種	○	29ha
	おかやま夢白桃	H17.3.14	果皮白色、作りやすく、大玉、高糖度の晩生品種	○	96ha
	さきがけはくとう	H25.6.18	外観が白くて食味が優れる早生品種	○	1ha
	岡山PEH7号 【白皇】	H28.3.22 【H29.9.15】 H31.3.11 (中国出願中)	果皮白色、高糖度、食味優れる極晩生品種	○	14ha
	岡山PEH8号 【白露】	H28.3.22 【H29.9.15】 H31.3.11 (中国出願中)	果皮白色、大果で軟らかく多汁、食味優れる極晩生品種	○	3ha
	岡山PEH9号	H30.2.8	果皮白色、高糖度、食味優れる中生品種	—	
ぶどう	オーロラブラック	H15.2.20	着色しやすく、極めて脱粒しにくい大粒の黒色ブドウ	○	89ha
なし	岡山PER1号 【晴香】	R2.1.28 【H29.9.15】	芳香があり、食味が優れ、果肉障害が少なく、栽培容易	○	
いちご	岡山STB1号	H29.2.8	夏秋栽培での収量が多く、大果の四季成り性品種	○	県内2か所(新見市、久米南町)、計110m ² で栽培
スイートピー	岡山SWP4号	H29.6.22 (出願中)	花色が黄白色で、花弁の先端に浅橙色が入り、巻きひげがない	—	
ブルーレースフラワー	岡山BLF1号	R元.8.16	花青で、生育揃いがよく、草姿が横に広がらず作業性優れる	○	1a(2戸、H30) 県外でも栽培可
りんどう	岡山RND4号	H31.3.6 (出願中)	蒜山で6月下旬～7月中旬に開花する青花の極早生品種	○	令和元年度から栽培開始 (苗注文数:R2:8,000本)
ラークスパー	岡山LAR3号	R2.2.28 (出願中)	濃紫青と濃青紫の二色咲き、切り花ボリュームが出やすい	○	令和2年度から2戸で栽培開始

2 育成品種（系統）

作物名	系統名称	育成時期	特 徴	利用許諾	普及状況等
黒大豆	岡山系統1号	H16	大粒で品質の良い黒大豆	—	1,166ha
ラークスパー	P1C、L12E	H20	電照加温促成栽培用のピンク(P1C)とラベンダー(L12E)	—	31a
りんどう	岡山リンドウ1・2号	H22	耐暑性に優れるF1青花品種 1号:盆出荷、2号:彼岸出荷	—	「おかやま夢りんどう」全体で3.2ha
	岡山リンドウ3号	H27	8月中旬～9月上旬に開花する花弁がピンク色の品種	—	

網掛けは過去3年間に登録または出願した品種。○は許諾中。
品種名称、登録年月日の各欄の【 】は商標名を示す。

3 特許権

特許名	登録年月日	概要	実施許諾	普及状況
無核ぶどうの房作り法、及びその方法によって生産される生食用ブドウ	H27.5.29	1枝梗に2～4房で、1房6～20粒、100～300gの小房ブドウの生産法	—	
新菌株、該新菌株を用いた根頭がんしゅ病防除剤及び／又は植物種子発芽率向上剤	H27.12.18 (国内登録)	根頭がんしゅ病防除のための拮抗細菌	—	
果実袋	H28.2.5 (国内登録) H29.3.17 (韓国登録) H29.5.21 (台湾登録)	夏季高温による果肉の生理障害対策の遮熱袋	○	H29年市販開始。平30～令和元年は、モモ袋800,000枚、ナシ袋28,200枚を生産
非病原性キサントモナス属細菌菌株及び該菌株を用いた微生物農薬	H28.11.11 (国内登録)	モモせん孔細菌病などの防除のための拮抗細菌	—	
リゾビウム属菌の培養方法	R2.4月 (PCT出願国内 (日、米、欧)移 行中)	根頭がんしゅ病防除のための拮抗細菌の製剤化	—	
微生物凍結乾燥組成物	R2.4月 (PCT出願国内 (日、米、欧)移 行中)	根頭がんしゅ病防除のための拮抗細菌の製剤化	—	

4 実用新案権

実用新案名	登録年月日	概要	実施許諾	普及状況
樹木の凍・寒害防止資材	H27.9.2	檜のプレーナー層を利用した凍害防止資材	○	令和元年度から本格的に市販化

網掛けは過去3年間に出版または登録したもの。○は許諾中。

農業研究所が開発した主な新技術普及状況
(令和元年度 普及推進課調べ)

資料6

項目	No.	技術名	令和元年度合計		平成30年度合計	
			面積(a)	戸数(戸)	面積(a)	戸数(戸)
作物	1	簡易な肥効予測ソフト「鶏ふんコレピタくん」による水稻施肥設計技術	40	1	6,080	10
	2	ヒノヒカリ遅植栽培の出穂期予測と作期設定による高温障害回避技術	0	0	2,400	50
	3	水稻栽培のリン酸減肥指針に基づく減肥	4,000	4	1,000	70
	4	水稻育苗箱への全量施肥技術	2,800	3	2,300	9
	5	水稻の密播育苗栽培技術	28,238	38	19,563	32
	6	水稻の緑肥利用技術	7,040	15	6,856	32
	7	県産ビール大麦の品質向上に役立つ全量基肥肥料	29,080	205	29,080	205
	8	麦の耕うん同時畝立播種	18,569	24	11,670	22
	9	水稻「きぬむすめ」の食味を重視した栽培管理方法	40	4	30	2
	10	黒大豆のマルチ栽培	8,780	140	12,720	184
野菜	11	「はればれプラント」を利用したいちご高設栽培技術	760	52	726	57
	12	トマトのフルメット液剤による裂果軽減技術	32	5	12	3
	13	白ネギの秋播き春定植栽培	33	3	90	6
	14	露地ナスの天敵利用栽培（ヒメハナカメムシとタバコカスミカメの併用）	158	3	-	-
	15	炭酸ガス施用技術（ナス）	304	18	282	16
	16	土壌施肥管理システムを利用した施肥技術（ナス、トマト）	323	27	258	24
果樹	17	もも「白皇」の大玉生産技術	353	183	5	4
	18	もも「白露」の無摘蕾、予備摘果省略による省力的栽培	35	22	14	12
	19	ももの部分深耕による樹勢強化対策	1,100	107	110	22
	20	もも「清水白桃」の果肉障害に対する総合的軽減技術	3,470	262	-	-
	21	「シャインマスカット」のフラスター液剤散布による副梢管理の省力化	715	69	-	-
	22	「シャインマスカット」加温で新梢を順調に伸長させるシアナミド剤の処理	197	24	-	-
花き	23	ブプレウラムの超促成栽培における安定生産技術	126	15	126	15
	24	おかやまオリジナルラークスパー優良系統の普及	31	8	-	-
	25	小ギクの電照栽培技術	67	21	56	21
共通	26	天敵利用による総合防除技術（施設ナス、イチゴ、トマト、ブドウ）	2,946	174	2,848	166
			109,237	1,427	96,226	962

平成29年度（計45件）

[水田作部門]

1. 飼料米モミロマンの特徴と栽培方法 日本農業新聞

[畑・転換畑作部門]

1. ビール大麦「スカイゴールデン」の12月播きでは播種量を増やし穂肥を減らす 日本農業新聞

[果樹部門]

1. 果樹研究室における取り組み（前編）ーモモー果樹（全農岡山）
2. 果樹研究室及び高冷地研究室における取り組み（後編）ーブドウー果樹（全農岡山）
3. モモ おかやま夢白桃の栽培上の留意点 果樹（全農岡山）
4. モモ 部分マルチの敷設方法 果樹（全農岡山）
5. 岡山県オリジナルのナシ新品種「岡山PER1号」について 果樹（全農岡山）
6. 若木の栽培上の留意点～モモ編～ 果樹（全農岡山）
7. 今年の栽培反省と次年度の対策 ーモモー果樹（全農岡山）
8. 「モモ 結実不良対策」～新品種の特性と総合的な対策について～ 果樹（全農岡山）
9. 「加温栽培の省エネ管理」 ブドウ大事典
10. 「オーロラブラック」 ブドウ大事典
11. 「マスカット・ベリーA」 ブドウ大事典
12. 「ピオーネ（短梢剪定）」 ブドウ大事典
13. 被覆栽培でのトンネル除去と温度 ブドウ大事典
14. 若木の栽培上の留意点～ブドウ編～ 果樹（全農岡山）
15. 今年の栽培反省と次年度の対策 ーブドウー果樹（全農岡山）
16. 驚きの大粒 脱粒しにくい 日持ち性抜群 魅力いっぱいの岡山県オリジナルブドウ「オーロラブラック」 果樹（全農岡山）
17. 果樹園管理のポイント ブドウ 果樹（全農岡山）
18. 簡易被覆栽培におけるブドウ「シャインマスカット」の高品質安定生産技術 JATAFF ジャーナル
19. 営農技術情報 凍害守る新資材 かんなくず利用 日本農業新聞
20. 営農技術情報 準高冷地でのオーロラブラック栽培 日本農業新聞
21. 果実袋の遮光率の違いが「シャインマスカット」の糖度上昇に及ぼす影響 果実日本
22. 今月の果樹園管理 ピオーネ・オーロラブラック 果樹（全農岡山）
23. ピオーネの栽培土壌と施肥 ～品質と生産の安定を目指して～ 果樹（全農岡山）
24. 生理障害の診断と対策 ー岡山県のモモ・ブドウの事例を中心にー 果樹（全農岡山）
25. 果樹栽培における施肥と効果について 果樹（全農岡山）
26. ブドウ「ピオーネ」の施肥窒素吸収効率 日本農業新聞
27. モモの害虫「モモノゴマダラノメイガ」の被害を防ぐ緑色LED 農業電化
28. 緑色LED灯を利用したモモのモモノゴマダラノメイガの被害抑制 植物防疫
29. 岡山県におけるブドウ病害の最近の傾向と防除対策 果実日本
30. モモせん孔細菌病の生態と防除対策 果樹（全農岡山）
31. ブドウのコナカイガラムシ類の対策 果樹（全農岡山）
32. モモ果実赤点病の生態と防除対策 果樹（全農岡山）

33. 病虫研究室における取り組み 果樹（全農岡山）
34. モモせん孔細菌病の秋季徹底を！ 果樹（全農岡山）
35. 今年問題となった病害虫とその対策 果樹（全農岡山）
36. 今月の果樹園管理 果樹（全農岡山）

[野菜部門]

1. 営農技術情報 冬のニューフェース野菜リーキの県南地域における播種適期 日本農業新聞
2. 塩類集積圃場における点滴かん水を利用した発芽障害軽減対策 土づくりとエコ農業

[花き部門]

1. 露地小ギク 再電照で旧盆にピタリッ 現代農業

[共通部門]

1. 営農技術情報 農業研究所が新技術を発信！ー 日本農業新聞
2. 営農技術情報 農業研究所高冷地研究室ー気象特性生かし技術や栽培研究ー 日本農業新聞
3. 営農技術情報 農作物の被害防止へ「発生予察」を活用して 日本農業新聞
4. 混合堆肥複合肥料の開発とこれから 日本土壌肥料学雑誌

平成30年度（計44件）

[水田作部門]

1. 営農技術情報 「きぬむすめ」の幼穂形成期の葉色に基づく良食味生産技術 日本農業新聞

[畑・転換畑作部門]

1. 営農技術情報 「おかやま黒まめ」の黒マルチ栽培の効果 日本農業新聞
2. 岡山県における黒大豆（「おかやま黒まめ」と商品名「作州黒」）種子の生産・供給 特産種苗

[果樹部門]

1. 岡山県の樹形構成 最新農業技術 果樹
2. 果樹園管理のポイントーブドウー 果実日本
3. モモ枯死症状の発生要因と対策 果樹（全農岡山）
4. 岡山県オリジナル新品種の栽培管理のポイント 果樹（全農岡山）
5. 「紫苑」の房型改善を目的とした栽培管理について 果樹（全農岡山）
6. モモ 部分マルチの敷設方法 果樹（全農岡山）
7. 平成 29 年度 農業研究所における試験研究の取り組み 果樹研究室における取り組みーモモー果樹（全農岡山）
8. 平成 29 年度 農業研究所における試験研究の取り組み 果樹研究室における取り組みーブドウー果樹（全農岡山）
9. 収穫適期の見分け方～「清水白桃」以降の新品種について～ 果樹（全農岡山）
10. モモ 成熟期の高温による成熟遅延及び対策 果樹（全農岡山）
11. 凍害の被害抑制に向けた対策 果樹（全農岡山）
12. ブドウ加温栽培における省エネ対策 果樹（全農岡山）
13. シリーズ よくわかる果樹用語解説 IV「石ブドウ」「かすり症」 果樹（全農岡山）
14. 今年の栽培反省と次年度の対策 ーモモー 果樹（全農岡山）
15. 今年の栽培反省と次年度の対策 ーブドウー 果樹（全農岡山）
16. 平成 30 年度 岡山県うまいくだもの共進会（モモ共進会）の審査結果について 果樹（全農岡山）

17. 今月の果樹園管理「シャインマスカット」 果樹（全農岡山）
18. 「おかやま夢白桃」の生産安定に向けた農業研究所の取組と対策 果樹（全農岡山）
19. 営農技術情報 モモの晩霜害を防ぐ 日本農業新聞
20. 土壌診断結果の見方と改良対策 果樹（全農岡山）
21. シリーズ よくわかる果樹用語解説 IV有機質肥料の種類と効果の違い 果樹（全農岡山）
22. 平成29年度農業研究所における試験研究の取組－環境研究室における取組－果樹（全農岡山）
23. 「おかやま夢白桃」の生産安定に向けた農業研究所の取組と対策 果樹（全農岡山）
24. 岡山県におけるモモせん孔細菌病と果実赤点病 果実日本
25. モモせん孔細菌病の生態と防除対策 果樹（全農岡山）
26. 病虫研究室における取り組み 果樹（全農岡山）
27. モモのナシマルカイガラムシの対策について 果樹（全農岡山）
28. 近年発生が見られるモモ急性枯死症について 果樹（全農岡山）
29. モモせん孔細菌病の秋季徹底を！ 果樹（全農岡山）
30. 今年問題となった病害虫とその対策 果樹（全農岡山）
31. 今月の果樹園管理 果樹（全農岡山）
32. 営農技術情報 トラップでカイガラムシ防除 日本農業新聞
33. 今月の果樹園管理 ピオーネ・オーロラブラック 果樹（全農岡山）

[野菜部門]

1. 代替餌を活用した飛ばないナミテントウ技術マニュアル（施設ナス栽培編）農研機構 西日本農業研究センター
2. 営農技術情報 裂果対策技術を開発（トマト） 日本農業新聞
3. 営農技術情報 土づくりは堆肥から！～堆肥の施用で栽培が安定～ 日本農業新聞

[花き部門]

1. 各地域で輝く中堅園芸施設のUECS活用スマート化による生産力アップの提案 UECSスマート施設園芸実証研究コンソーシアム
2. 再電照による夏秋小ギクの花房形状の改善 グリーンレポート

[農業経営部門]

1. 市場調査による小房ブドウの販売方向の検討 農業経営通信

[共通部門]

1. 営農技術情報 農業研究所が新技術を発信 日本農業新聞
2. 営農技術情報 農業研究所高冷地研究室－生産性向上へ新技術開発－ 日本農業新聞

令和元年度（計44件）

[水田作部門]

1. 営農技術情報 水稻「アケボノ」倒伏回避技術 日本農業新聞

[畑・転換畑作部門]

1. 飼料用トウモロコシの二期作栽培における安定多収生産技術 飼料作を基幹部門とする高収益水田作営農モデルの手引き

[果樹部門]

1. 各品種の地域別生育期 最新農業技術 果樹（全農岡山）
2. 花穂の開花時期で判断する加温「シャインマスカット」の果実品質低下の回避技術 技術の窓

3. 営農技術情報 施設栽培「シャインマスカット」の結実を安定させるための花穂整形 日本農業新聞
4. 話題の品種 日本ナシ「晴香（岡山PER1号）」 果実日本
5. 今月の果樹園管理「シャインマスカット」 果樹（全農岡山）
6. モモ 機能性果実袋の紹介 果樹（全農岡山）
7. ブドウにおけるフラスター液剤の使用法とその留意点 果樹（全農岡山）
8. モモ新品種「さきがけはくとう」、「白皇」、「白露」の栽培管理のポイントと課題に対する取り組み 果樹（全農岡山）
9. 平成30年度 農業研究所における試験研究の取り組み 果樹研究室における取り組み（前編）モモ 果樹（全農岡山）
10. 平成30年度 農業研究所における試験研究の取り組み 果樹研究室及び高冷地研究室における取り組み（後編）ブドウ 果樹（全農岡山）
11. モモ 次年度の初期成育促進に向けた収穫後の栽培管理 果樹（全農岡山）
12. 凍害の被害抑制に向けた対策 果樹（全農岡山）
13. ブドウ施設栽培における省エネ対策 果樹（全農岡山）
14. 今年の栽培反省と次年度の対策－モモ－ 果樹（全農岡山）
15. 今年の栽培反省と次年度対策－ブドウ－ 果樹（全農岡山）
16. 令和元年度 岡山県うまいくだもの共進会（ピオーネ、オーロラブラック共進会の審査結果について） 果樹（全農岡山）
17. よくわかる果樹用語解説 16.葉面積指数（LAI） 果樹（全農岡山）
18. 「シャインマスカット」の秋冬期出荷技術について 果樹（全農岡山）
19. 平成30年度農業研究所における試験研究の取組－環境研究室における取り組み－ 果樹（全農岡山）
20. 県内モモ園の土壌調査結果（I）土壌の化学性 果樹（全農岡山）
21. 果樹園における草生栽培シリーズ1 果樹（全農岡山）
22. 果樹害虫の最近の動向と防除策 岡山県のブドウ害虫の発生動向と防除対策 果実日本
23. モモのカイガラムシ類は種類別に適期防除をしましょう！ 果樹（全農岡山）
24. 病虫研究室における取り組み 果樹（全農岡山）
25. 気になる病害虫の見分け方 ブドウ ベと病、うどんこ病、灰色かび病 果樹（全農岡山）
26. 気になる病害虫の見分け方 モモ せん孔細菌病、灰星病、黒星病の枝病斑 果樹（全農岡山）
27. モモせん孔細菌病の秋季以降の防除徹底を！ 果樹（全農岡山）
28. 気になる病害虫の見分け方 ブドウ 房枯病、房枯症、晩腐病 果樹（全農岡山）
29. 今年問題となった病害虫とその対策 果樹（全農岡山）
30. 今月の果樹園管理 果樹（全農岡山）
31. 簡易被覆栽培のブドウにおける晩霜害対策 果樹（全農岡山）
32. ネギアザミウマ ひと目で分かる果樹の病害虫
33. 営農技術情報 ブドウ「オーロラブラック」県最北部の栽培～冷涼生かし収益増～ 日本農業新聞
[野菜部門]
1. 遮熱資材のハウス天ビニル塗布処理とホルクロルフェニユロンのトマト果房散布によるトマト放射状裂果の軽減技術 施設と園芸

2. 遮熱資材のハウス天ビニール塗布および薬剤の併用によるトマトの放射状裂果軽減 グリーンレポート

[花き部門]

1. 営農技術情報 スイートピーの秋～初冬落蕾防止 夜間冷房(8度)が効果 日本農業新聞
2. 営農技術情報 農業研究所高冷地研究室－生産性向上へ新技術開発－ 日本農業新聞

[共通部門]

1. 近赤外分光法による土壌化学性診断 光アライアンス
2. 混合堆肥複合肥料の製造とその利用 農林水産省委託プロジェクト有機質資材コンソーシアム編

平成29年度（計9件）

[水田作部門]

1. 日本型イネにおける脱粒性評価のための準同質遺伝子系統群の育成と脱粒程度の遺伝解析 日本作物学会紀事

[畑・転換畑作部門]

1. 水田転換畑における黒大豆の土壌施肥管理技術に関する研究（第2報）黒大豆に対する堆肥連用の影響 岡山県農総セ農研研究報告

[果樹部門]

1. 高梁地域ブドウ園における土壌窒素無機化特性と‘ピオーネ’樹の生育との関係 岡山県農総セ農研研究報告
2. 1. Biological control for grapevine crown gall using nonpathogenic Rhizobium vitis strain ARK-1. Proc.Jpn.Acad.Ser.B
3. Nondestructive Detection of Split Pit in Peaches Using an Acoustic Vibration Method The Horticulture Journal Advance online publication :Article

[野菜部門]

1. ホルクロールフェニユロンの果房当たり1回散布による雨除け栽培トマトの放射状裂果の軽減 園芸学研究
2. 岡山県産黄ニラの抗酸化活性 就実大学薬学雑誌

[花き部門]

1. 電照栽培による夏秋期の小ギク安定生産 最新農業技術 花卉

[農業経営部門]

1. 稲作経営の規模拡大過程における実際と課題－岡山県の事例から－ 岡山県農総セ農研研究報告

平成30年度（計9件）

[共通部門]

1. 牛ふんを主原料とする堆肥中リン酸並びにカリウム含量の変動特性 岡山県農総セ農研研究報告

[水田作部門]

1. 鉄コーティング湛水直播栽培における全量基肥施肥が飼料用米‘中生新千本’の収量に及ぼす影響 新近畿中国四国農業研究

[果樹部門]

1. モモ‘さきがけはくとう’の収穫適期の検討 岡山県農総セ農研研究報告
2. ‘清水白桃’の着果部位における葉芽の有無及び複芽内における花芽の着生位置の違いが果実品質及び生理障害の発生に及ぼす影響 岡山県農総セ農研研究報告
3. Characterization of peach tree crown by using high-resolution images from an unmanned aerial vehicle. Horticulture Research
4. Factors affecting primary infection and spatiotemporal patterns of tomato plants naturally infected with black leaf mold in commercial greenhouses. Journal of General Plant Pathology

[野菜部門]

1. 真庭市蒜山地域における秋季の気象条件とダイコン‘冬職人’の糖度との関係 岡山県農総セ農研研究報告

[花き部門]

1. スイートピー新品種‘岡山SWP4号’の育成 岡山県農総セ農研研究報告

令和元年度（計8件）

[水田作部門]

1. 鶏ふんの施用時期を考慮した水稻の施肥設計方法の開発 岡山県農総セ農研研究報告
2. 岡山県の水稲主要品種における脱粒程度の年次間差 日本作物学会紀事

[畑・転換畑作部門]

1. 黒ダイズ‘丹波黒’のセルトレイ育苗におけるヘソ横向き播種の効果の年次間比較 岡山県農総セ農研研究報告

[果樹部門]

1. Development of simple PCR-based DNA marker for the red-fleshed trait of a blood peach, ‘Tenshin-suimitsuto’ Molecular Breeding

[野菜部門]

1. 真庭市蒜山地域における秋季の気温とダイコン‘冬職人’の肥大との関係、並びに高糖度ダイコン収穫のための播種適期の推定 岡山県農総セ農研研究報告

[花き部門]

1. 播種時期がラークスパーの採種量及び種子発芽に及ぼす影響 岡山県農総セ農研研究報告
2. リンドウ新品種‘岡山RND4号’の育成 岡山県農総セ農研研究報告
3. 夏秋小ギクにおける高温による開花遅延およびフロリゲン遺伝子FTL3の発現抑制の品種間差 園芸学研究

平成29年度（計30件）

[水田作部門]

1. 稲作経営体の経営展開の方向性-岡山県の事例から- 地域農林経済学会大会個別報告要旨集
2. 県内水田土壌における可給態イオウ含量と湛水条件下におけるその挙動 日本土壌肥料学会関西支部講演要旨集

[畑・転換畑作部門]

1. オオムギ4条自然突然変異の遺伝解析 育種学研究
2. 転作田における飼料用トウモロコシの安定多収施肥技術の検討 日本土壌肥料学会講演要旨集

[果樹部門]

1. Evaluation of canopy structure of peach tree by using consumer level unmanned aerial vehicles
EFITA CONGRESS
2. ‘ひだ国府紅しだれ’ 台木を用いたモモ‘清水白桃’の成木までの生育, 収量, 果実品質 園芸学研究 (講要)
3. 普遍性の高いモモ花粉稔性識別マーカーの開発 園芸学研究 (講要)
4. ‘ひだ国府紅しだれ’ 台木を用いたモモ樹の養分吸収特性 園芸学研究 (講要)
5. ブドウ‘シャインマスカット’の加温栽培における果房周辺の光環境が糖度上昇に及ぼす影響 園芸学研究(講要)
6. 果物の東アジア、東南アジア輸出を促進するための輸出国ニーズに適合した生産技術開発及び輸出ネットワークの共有による鮮度保持・低コスト流通・輸出技術の実証研究 アグリビジネス創出フェア
7. 「オーロラブラック」を中心とした「小房ブドウ」の栽培技術と現地実証、試験販売などの取り組み 近畿・中国・四国果樹研究会資料
8. 岡山県オリジナル新品種の輸出に向けたニーズの把握と対策技術試験 もも・ぶどうの貯蔵・輸送技術に関する意見交換会
9. 岡山県高梁地域ブドウ園の土壌窒素無機化特性と‘ピオーネ’樹の生育との関係 日本土壌肥料学会関西支部講演要旨集
10. 秋季及び春季における「ピオーネ」の施肥窒素吸収効率 日本土壌肥料学会講演要旨集
11. 秋季および春季における「ピオーネ」の効率的な窒素施肥 落葉果樹研究会資料
12. モモ樹の耐熱性と低温水の点滴処理による白紋羽病菌の死滅効果 日本植物病理学会報 (講要)
13. ブドウ果粒果頂部を加害するネギアザミウマの防除時期の検討 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集

[野菜部門]

1. 夏季の雨除けトマト栽培での放射状裂果の発生と開花期から幼果期までの気温との関係 園芸学研究 (講要)
2. ナス促成栽培における土壌水分張力に基づく灌水が日焼け果の発生に及ぼす影響 (湿潤条件と乾燥条件の比較) 園芸学研究(講要)
3. イチゴの10倍体育成系統の早生性と香り成分 園芸学会中四国支部要旨
4. ナスの露地栽培における日焼け果の形状および発生時期 園芸学会中四国支部要旨
5. ハウスフィルムへの遮熱資材塗布処理が夏秋雨除けトマト栽培の放射状裂果発生に及ぼす影響

園芸学研究(講要)

6. 黒大豆エダマメの良食味の基準と食味成分低下の特徴 園芸学会中四国支部研究発表要旨
7. 肥効調節型肥料を混合した混合堆肥複合肥料の窒素肥効と夏まきキャベツ栽培における基肥施用効果 日本土壌肥料学会講演要旨集
8. 岡山県内の水田転換畑における排水対策の取り組みと課題 近畿中国四国農業試験研究推進会議土壌肥料推進部会問題別研究会資料
9. チオファネートメチル・エトフェンカルブ耐性キュウリ褐斑病菌に対するエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤(D・T剤)の防除効果 日本植物病理学会報(講要)

[花き部門]

1. 夜間冷房時の温度がスイートピーの落蕾に及ぼす影響 農業情報学会講演要旨集
2. 電照終了後の高温処理が夏秋小ギク品種の開花に及ぼす影響 園芸学研究(講要)
3. 再電照前の自然日長期間が夏秋小ギクの花蕾数に及ぼす影響 園芸学研究(講要)
4. 播種後プライミングがブルーレースフラワーの出芽に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨

平成30年度(計39件)

[水田作部門]

1. 岡山県における良食味米生産への取り組み～「きぬむすめ」の食味を重視した栽培管理方法～ 日本作物学会中国支部研究集録
2. 水稻「アケボノ」で回避すべき倒伏の程度とその目安となる稈長 日本作物学会中国支部研究集録
3. 岡山県における「にこまる」の移植晩限と収穫時期の作業競合回避 日本作物学会中国支部研究集録
4. 業務用米品種「アケボノ」の生育診断による安定多収の実現にむけて 中国四国地域マッチングフォーラム
5. 混合堆肥複合肥料を配合した水稻の全量基肥用肥料の開発と実用性の検討 日本土壌肥料学会講演要旨集
6. 鉄コーティング湛水直播栽培における全量基肥施肥が飼料用米「中生新千本」の収量並びに所得に及ぼす影響 日本土壌肥料学会関西支部講演要旨集

[畑・転換畑作部門]

1. ミニシンポジウム2「持続的な原種・採種事業と研究との接点を探る」岡山県における麦類原種・種子生産の概要 日本作物学会講演会要旨集
2. 岡山県における「丹波黒」の黒マルチ栽培とその有効性 日本作物学会中国支部研究集録
3. 岡山県における黒大豆「丹波黒」の黒マルチ栽培の経営評価 日本作物学会中国支部研究集録

[果樹部門]

1. 加温栽培「シャインマスカット」の作型の違いが生育および果実品質に及ぼす影響 園芸学研究(講要)
2. モモ台木「ひだ国府紅しだれ」種子の発芽処理に伴う内生植物ホルモンの動態 園芸学研究(講要)
3. モモの果肉の褐変化に関する品種間多様性とその要因調査 園芸学研究(講要)
4. 花穂整形時における花穂先端部の長さがブドウ「シャインマスカット」の結実に及ぼす影響 園芸学研究(講要)

5. モモ‘岡山PEH7号’（白皇）の早期着果調整が樹体成長および果実品質に及ぼす影響 園芸学研究（講要）
6. 岡山県オリジナルモモ新品種‘岡山PEH8号’（白露）の食べ頃と香りとの関係 園芸学研究（講要）
7. ホルモン処理方法の違いがブドウ‘紫苑’の房形および果実品質に及ぼす影響 園芸学研究（講要）
8. モモ果肉色の多様化に向けた「天津水蜜桃」の紅肉形質の解析と育種マーカー開発 日本農芸化学会（講要）
9. ナシ新品種‘岡山PER1号’の特徴 園芸学会中四国支部要旨
10. モモ果肉色の多様化に向けたDNAマーカーの活用 果樹バイテク研究会（講要）
11. シャインマスカットの加温栽培に適した栽培技術と今後の課題 落葉果樹研究会資料
12. 果物の東アジア、東南アジア輸出を促進するための輸出国ニーズに適合した生産技術開発及び輸出ネットワークの共有による鮮度保持・低コスト流通・輸出技術の実証研究 アグリビジネス創出フェア
13. 高品質なシャインマスカットの生産技術ー加温栽培に適した栽培技術と今後の課題 近畿地域マッチングフォーラム資料
14. 春季に見られるモモ樹の衰弱・枯死の原因と対策 岡山県うまいくだもの推進大会（講要）
15. 「白皇」・「白露」の栽培経緯と品種特性と栽培のポイント 「白皇」・「白露」栽培研修会（講要）
16. 岡山県内のシャインマスカット施設栽培土壌における理化学性と葉色の特徴 日本土壌肥料学会関西支部講演要旨集
17. 味覚センサ等を用いたブドウの味に関する官能評価値の推定 日本食品科学工学会講演集
[野菜部門]
1. トマトの放射状裂果に関与する内在因子と発生軽減剤の開発 園芸学研究（講要）
2. 天敵温存植物スカエボラの簡易越冬方法の検討 園芸学研究（講要）
3. ナス促成栽培におけるバーク堆肥の施用が日焼け果の発生に及ぼす影響（連用2年目までの検討） 園芸学研究（講要）
4. 岡山県真庭市蒜山地域における秋季の気温とダイコンの糖度並びに根重の関係 園芸学会中四国支部要旨
5. Development of a banker plant method for *Nesidiocoris tenuis* to suppress whiteflies in tomato greenhouses Meeting of the IOBC-WPRS Working Group, Book of abstracts
6. 収穫直後から選果までの黒大豆エダマメのショ糖及びアミノ態窒素量低下の抑制技術 園芸学会中四国支部研究発表要旨
7. 多剤耐性キュウリ褐斑病菌に対するマンゼブ水和剤と耐病性品種を用いた体系防除の有効性 日本植物病理学会報（講要）
8. 夏秋雨除けトマト栽培におけるトマトすすかび病の防除適期 日本植物病理学会報（講要）
9. キュウリ褐斑病防除におけるマンゼブ水和剤への展着剤加用が果実汚れ軽減効果と防除効果へ与える影響 日本植物病理学会報（講要）
- [花き部門]
1. 電照・9月出荷作型における穂冷蔵およびエセフォン処理が夏秋小ギクの開花および切り花形質に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨
2. スイートピーの落蕾防止を目的としたヒートポンプコントローラの試作 農業情報学会（講要）

3. Development of the heat pump controller for preventing flower-bud abscission of sweetpea

The second international conference on sustainable agriculture and environment

[共通部門]

1. 鶏ふん焼却灰入り混合堆肥複合肥料の保存性評価 日本畜産学会講要

令和元年度（計28件）

[水田作部門]

1. 業務用向け水稻品種「アケボノ」の多収生産において目指すべき収量および収量構成要素 日本作物学会要旨集
2. 飼料用米「中生新千本」、「アケボノ」の移植栽培での安定多収に適した全量基肥用肥料の選定 日本土壌肥料学会関西支部講演要旨集

[畑・転換畑作部門]

1. 黒ダイズ品種「丹波黒」の皮切れ粒に由来するセル成型苗の損傷 日本作物学会講演会要旨集
2. 岡山県のビール大麦における気象要素と収量の資料解析 日本作物学会講演会要旨集
3. 転作田における飼料用トウモロコシの二期作栽培に適した肥培管理方法の検討 日本土壌肥料学会講演要旨集

[果樹部門]

1. ‘天津水蜜桃’の紅肉形質の解析と高精度な育種マーカーの開発 園芸学研究（講要）
2. ブドウ‘シャインマスカット’における秋冬期出荷技術の確立 園芸学研究（講要）
3. モモ‘冬桃がたり’の極晩生成熟特性のF1後代における遺伝様式 園芸学研究（講要）
4. 幼果期の果粒直径の測定によるブドウ‘オーロラブラック’の成熟期の果粒重の推定 園芸学研究（講要）
5. 晩生モモ‘白露’の0℃貯蔵の成否と熟度との関係および香り成分への影響 園芸学研究（講要）
6. ‘ひだ国府紅しだれ’台を用いた岡山県オリジナル新品種の樹体生育の特性と果実品質 園芸学研究（講要）
7. モモ遺伝資源および交雑集団におけるモモ黒斑病の罹病性調査 園芸学研究（講要）
8. 岡山県モモオリジナル新品種の輸出先ニーズに対応した栽培技術の確立 落葉果樹研究会資料
9. 機器分析値を用いたモモの味の官能評価値の推定 園芸学会中四国支部発表要旨
10. ブドウに含まれる香り成分の特性 日本食品科学工学会大会講演集
11. 簡易被覆栽培におけるブドウ晩腐病の感染時期の推定 日本植物病理学会報（講要）
12. 果実袋外からのブドウ晩腐病の感染 日本植物病理学会報（講要）
13. モモ黒斑病に対する有効薬剤の選抜及び薬剤混用の効果 日本植物病理学会報（講要）
14. 「ピオーネ」休眠枝中の貯蔵デンプン量は土壌可給態窒素量に関連する 日本土壌肥料学会関西支部講演要旨集
15. 準高冷地におけるブドウ‘オーロラブラック’の生育特性の把握と無核肥大処理方法の検討 園芸学研究（講要）

[野菜部門]

1. 露地ナス栽培後期の整枝管理による日焼け果および擦れ果の発生の軽減 園芸学研究（講要）
2. *Rhizobium radiobacter*(Ti)によるシュンギク根頭がんしゅ病（新称）の発生 日本植物病理学会報（講要）

3. 岡山県の促成栽培ナスにおけるミナミキイロアザミウマの薬剤感受性の変遷 西日本応用動物研究会報（講要）

[花き部門]

1. 浸種および播種後プライミングがブルーレースフラワーの出芽に及ぼす影響 園芸学会中四国支部要旨

[共通部門]

1. 混合堆肥複合肥料の水分の違いがバルクブレンドした被覆尿素の窒素溶出に及ぼす影響 日本土壌肥料学会講演要旨集

2. 混合堆肥複合肥料を配合した水稲向けバルクブレンド肥料の保存性評価 日本土壌肥料学会関西支部講演要旨集

3. 家畜ふん堆肥を利用した水稲向けバルクブレンド肥料の開発 令和元年度畜産関係業績発表会（抄録）

4. 味覚センサーを用いた放線菌由来アミノペプチターゼの評価 日本生物工学会大会講演要旨集

技術普及のための研究会・研修会などへの対応

資料 10

平成29年度（計45件、対応職員数 延べ108名）

No	対応月日	研究会名等	主催	対応内容	発表の有無	対応職員数
1	4月13日	果樹研究会温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	2
2	4月14日	果樹研究会温室ブドウ部会女性部	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言、園場見学	有	1
3	4月19日	農業効果確認ほの設置及び設計検討会	岡山県植物防疫協会	研究会への出席と助言	無	2
4	4月27日	果樹研究会ブドウ部会ハウス分科会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	1
5	5月9日	果樹研究会モモ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	4
6	5月11日	果樹研究会ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	3
7	5月16日	農業安全指導講習会	岡山県農業安全指導者協議会	講習会への出席と助言	有	1
8	5月26日	JA岡山東山陽黄ニラ研究会	山陽黄ニラ部会	H29黄ニラ試験経過報告	有	1
9	7月11日	果樹研究会ナシ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	1
10	7月12日	農業共済評価員研修会	岡山県共済連	研修会での講義	有	1
11	7月7日	果樹研究会温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	2
12	7月13日	平成29年度畜産技術高度化研修	畜産研究所	研究会への出席と研究内容発表	有	1
13	7月20日	水田里山畜産利用セミナー(岡山)	農研機構西日本農業研究センター	セミナーへの出席と研究内容発表	有	3
14	7月24日	平成30年水稲栽培モデル防除層説明会(北部地区)	JAグループ岡山肥料農薬事業改革推進協議会	研究会への出席と助言	有	1
15	7月26日	岡山県シャインマスカット、アレキ共進会第1回	岡山県うまいくだものづくり推進本部	出品物審査、助言	無	6
16	8月4日	小ギク現地見学会	岡山県花き生産協会	見学会への出席と研究内容発表	有	2
17	9月4日	平成30年水稲栽培モデル防除層説明会(南部地区)	JAグループ岡山肥料農薬事業改革推進協議会	研究会への出席と助言	有	1
18	8月23日	平成29年度おかやま黒まめ研修会	岡山県(農産課)、全農岡山県本部	研修会への出席と講演	有	6
19	9月4日	果樹研究会温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	1
20	9月6日	果樹研究会ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	4
21	9月11日	果樹研究会ナシ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	1
22	9月19日	果樹研究会モモ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	3
23	9月29日	岡山県シャインマスカット、アレキ共進会第2回	岡山県うまいくだものづくり推進本部	出品物審査、助言	無	6
24	10月26日	果樹研究会女性部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	2
25	11月1日	平成29年度岡山県植物防疫協会現地研修会	岡山県植物防疫協会	研究会への出席と助言	無	2
26	11月6日	果樹研究会ナシ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	3
27	11月6-7日	シャインマスカット情報交換会	農研機構果樹研究所ブドウ・カキ研究拠点	研究会への出席と情報提供	有	6
28	11月10日	防除業者農業安全使用等研修会	岡山県(農産課)	研修会への出席と講演	有	1
29	11月14日	岡山県うまいくだもの推進大会	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研修会への出席と助言	無	5
30	11月16日	イチゴ栽培におけるミツバチの補完ポリネーターとしてのビーフライの利用	中四国アグリテック	研究会への出席	無	3
31	11月28日	果樹研究会ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	2
32	11月28日	果樹研究会温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	4
33	11月28日	平成29年度新技術セミナー	岡山県(普及連携部)	研究会への出席と助言	無	21
34	12月4日	果樹研究会モモ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	6
35	12月18日	岡山県なす振興大会	岡山元気ベジタブル推進本部・全農岡山県本部	大会への出席と講演	有	1
36	12月21日	瀬戸町雄町支部会反省会	JA岡山東、瀬戸町雄町部会	講演	有	1
37	12月21日	農業効果確認ほの成績検討会	岡山県植物防疫協会	研究会への出席と助言	無	3
38	1月10日	果樹研究会ブドウ部会ハウス分科会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	1
39	1月16-17日	平成29年度輸出植物検疫協議の加速化委託事業	(独)中央農業研究センター	会議への参加と助言	無	1
40	1月19日	農食事業成果発表会 中山間の未利用有機質資源を活用した人にも環境にもやさしい土壌消毒技術の実用化	農研機構西日本農業研究センター	研究会への出席	無	1
41	2月6-7日	平成29年度果樹茶業研究会	農研機構果樹茶業研究部門	会議への参加と助言	有	4
42	2月27日	第2回日本生物防除協議会シンポジウム	日本生物防除協議会	会議への参加	無	1
43	1月30-31日	平成29年度落葉果樹研究会	農研機構果樹茶業研究部門	大会への出席と講演	有	1
44	2月10日	果樹研究会ナシ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	1
45	3月23日	JA岡山東山陽黄ニラ研究会	山陽黄ニラ部会	H29黄ニラ試験結果報告	有	1

平成30年度（計38件、対応職員数 延べ114名）

No	対応月日	研究会名等	主催	対応内容	発表の有無	対応職員数
1	4月13日	果樹研究会温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	有	2
2	4月16日	果樹研究会ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	有	8
3	4月18日	倉敷地方稲作研究会	倉敷地方稲作研究会	研究会への出席と助言	有	1
4	4月19日	農薬効果確認ほの設置及び設計検討会	岡山県植物防疫協会	研究会への出席と助言	無	2
5	5月7日	モモ栽培管理研究会	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研究会への出席と助言	無	2
6	5月8日	果樹研究会もも部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	有	3
7	5月22日	岡山県ブランドイチゴ研究会	岡山県(農産課)、全農岡山県本部	研究会への出席と助言	有	4
8	5月29日	九州・中国花き担当普及指導員交流会(暖地リンドウのつどい)	山口県	研究会への出席	無	1
9	6月11日	モモ栽培管理研究会	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研究会への出席と助言	無	4
10	6月26日	岡山県苗木生産販売組合研修会	岡山県苗木生産販売組合	研修会への出席と助言	有	1
11	7月3日	IPM協議会研修会	IPM協議会	研修会への出席と助言	無	5
12	7月18日	平成30年水稲栽培モデル防除暦説明会(北部地区)	JAグループ岡山肥料農薬事業改革推進協議会	研究会への出席と助言	有	1
13	7月24日	岡山県もも共進会第1回	岡山県うまいくだものづくり推進本部	出品物の審査と助言	無	6
14	8月3日	岡山県もも共進会第2回	岡山県うまいくだものづくり推進本部	出品物の審査と助言	無	6
15	8月7日	平成30年度果樹共済(ブドウ)損害評価現地研修会	岡山県農業共済連	研究会への出席と助言	有	1
16	8月7日	ヤングライスネットワーク	ヤングライスネットワーク	研究会出席と研究内容発表	有	1
17	8月28日	岡山県ブランドイチゴ研究会	岡山県(農産課)、全農岡山県本部	研究会への出席と助言	無	3
18	8月28日	果樹研究会もも部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	5
19	9月3日	果樹研究会温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	3
20	9月4日	平成30年水稲栽培モデル防除暦説明会(南部地区)	JAグループ岡山肥料農薬事業改革推進協議会	研究会への出席と助言	有	1
21	9月4日	果樹研究会ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	4
22	9月7日	平成30年度果樹苗木生産本数調査・現地調査	岡山県果樹疫生産販売組合	研究会への出席と助言	無	3
23	9月18日	果樹研究会もも部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	有	3
24	10月1日	夏秋ナス担当者会議	岡山県(普及推進課)	研究会への出席と助言	無	2
25	10月16日	平成30年度岡山大学農学部キャリアサポート説明会	岡山大学農学部	研究会への出席と助言	有	1
26	10月31日	トマト担当者会議	岡山県(普及推進課)	研究会への出席と助言	有	1
27	11月9日	平成30年度防除業者農薬安全使用等研修会 I	岡山県・岡山県植物防疫協会	研究会への出席と助言	有	1
28	11月13日	平成30年度岡山県うまいくだもの推進大会(もも)	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研究会への出席	無	4
29	11月20日	平成30年度新技術セミナー	岡山県(普及推進課)	研究会への出席と助言	無	13
30	11月22日	生物科学研究所バイオサイエンスシンポジウム	生物科学研究所	研究会への出席	無	4
31	11月26日	備前地域いちご栽培研修会	備前地域いちご推進会議	研修会への出席	無	1
32	12月4日	果樹研究会もも部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	5
33	12月13日	岡山県ブランドいちご目揃え会	岡山県(農産課)	研修会への出席	無	3
34	12月18日	平成30年度農薬効果確認圃成績検討会	県植防	研究会への出席と助言	無	2
35	1月18日	平成30年度防除業者農薬安全使用等研修会 II	岡山県・岡山県植物防疫協会	研究会への出席と助言	有	1
36	1月18日	平成30年度水田農業の力強い経営体育成講座	岡山県(農産課)	研究会への出席と助言	有	1
37	1月29日	岡山県ブランドいちご研究会	岡山県(農産課)、全農岡山県本部	研究会への出席と助言	有	4
38	2月6日	上南米麦クラブ研修会	JA岡山	研究会への出席と助言	有	1

令和元年度（計72件、対応職員数 延べ188名）

No	対応月日	研究会名等	主催	対応内容	発表の有無	対応職員
1	4月4日	果樹研究会 ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	4
2	4月16日	果樹研究会 温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	4
3	4月18日	平成31年度農業効果確認圃の設置及び設計検討会	岡山県植物防疫協会	研究会への出席と助言	無	4
4	4月22日	平成31年度農作業安全研修会	岡山県(農産課)	研究会への出席と助言	無	1
5	4月22日	吉備路水田農業大規模経営体ネットワーク平成31年度総会	吉備路ネットワーク	研修会への出席と助言	有	1
6	4月23日	果樹研究会 ハウスブドウ分科会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	1
7	4月25日	平成31年度中山間地域等直接支払制度担当者会議	岡山県(農村振興課)	研究会への出席と助言	有	1
8	4月26日	次世代につながる営農体系確立支援事業(スマート農業)に係るリモートセンシングの説明・検討会	備前広域普及指導センター	研究会への出席と助言	無	1
9	5月9日	モモ栽培管理検討会	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研究会への出席と助言	無	4
10	5月10日	果樹研究会 ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	4
11	5月13日	果樹研究会 モモ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	8
12	5/21,22	平成31年度中国四国管内植物防疫・農薬担当者会議	中国四国農政局	研究会への出席と助言	無	2
13	5月21日	第31回備南地区米麦部会総会	JA岡山	研修会への出席と助言	有	1
14	5月29日	認定農業者経営改善計画書データベース化に係る第2回WG会議	岡山県(農産課)	研究会への出席と助言	有	1
15	6月3日	外来種講習会	岡山県(環境文化部)	研究会への出席と助言	無	1
16	6月25日	IPM協議会 令和元年度第1回研修会	IPM協議会	研究会への出席と助言	無	1
17	6月27日	令和元年度岡山県茶品評会	岡山県(農産課)	研究会への出席と助言	無	1
18	7月2日	果樹研究会 温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	4
19	7月9日	果樹共済(モモ)損害評価現地研修会	岡山県農業共済組合	研究会への出席と助言	有	3
20	7月17日	岡山県ピオーネ・オーロラブラック共進会第1回	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研究会への出席と審査	無	6
21	7月30日	スマート農業技術の開発・実証プロジェクト現地研修会	真庭市	研修会への出席と助言	有	5
22	7月31日	JA岡山上南米麦クラブ研修会	JA岡山	研修会への出席と助言	有	1
23	8月6日	果樹共済(ブドウ)損害評価現地研修会	岡山県農業共済組合	研究会への出席と助言	有	3
24	8月16日	「白皇」検査委員会	JA岡山東	査定会への出席と助言	無	2
25	8月21日	集落営農等の経営体間連携研修会	備前広域普及指導センター	査定会への出席と助言	有	1
26	8月27日	果樹研究会 モモ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	5
27	8月29日	岡山県ピオーネ・オーロラブラック共進会第2回	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研究会への出席と審査	無	6
28	8月30日	果樹研究会 温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	2
29	9月5日	「白皇」、「白露」の栽培研修会	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研究会への出席、圃場案内	有	5
30	9月25日	岡山県ピオーネ・オーロラブラック共進会第3回	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研究会への出席と審査	無	6
31	8月9日	JAつやま集落営農法人部会、津山地域大型稲作研究会合同研修会	JAつやま	研究会への出席と助言	無	2
32	9月2日	岡山県ブランドイチゴ研究会	岡山県(農産課)、全農岡山県本部	研究会への出席と助言	無	1
33	9月4日	ツマシロクサヨトウ防除対策説明会	岡山県(農産課)	研究会への出席と助言	有	2
34	9月9日	果樹研究会 ナシ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	1
35	9月10日	果樹研究会 ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	5
36	9月13日	岡山地方大型米麦研究会 水稲トビイロウンカに関する研修会	備前広域普及指導センター	研究会への出席と助言	有	1
37	9月26日	果樹研究会もも部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	7
38	10月4日	果樹研究会温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	4
39	10月7日	果樹戦略会議 作業部会	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研究会への出席と助言	無	5
40	10月8日	令和元年度果樹・野菜防除層説明会	JA全農岡山	研究会への出席と助言	有	1
41	10月10日	令和元年度農業効果確認圃(除草剤関係)成績検討会	岡山県植物防疫協会	研究会への出席と助言	無	2
42	10月11日	いちご担当者会議	岡山県(普及推進課)	研究会への出席と助言	無	1
43	10月11日	令和元年度園芸農業・肥料説明会	山陽薬品	研究会への出席と助言	無	3
44	10月18日	スマート農業技術の開発・実証プロジェクト現地研修会	赤磐スマート農業実証コンソーシアム	研究会への出席と助言	無	6
45	10月31日	令和元年度中国四国地方外来種対策連絡会議	中国四国地方環境事務所	研究会への出席と助言	無	2
46	11月6日	令和元年度普及指導員活動調査研究会	岡山県(普及連携部)	研究会への出席と助言	無	4
47	11月7日	岡山県うまいくだもの推進大会	岡山県うまいくだものづくり推進本部	研修会への出席と助言	無	4
48	11月8日	果樹研究会 ナシ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	1
49	11月8日	令和元年度防除業者農業安全使用等研修会	岡山県(農産課)	研究会への出席と助言	有	1
50	11月11日	農業経営体連携に係る研修会	奈義町	研究会への出席と助言	有	1
51	11月19日	果樹研究会 ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	有	3
52	11月26日	令和元年度新技術セミナー	岡山県(普及連携部)	研究会への出席と助言	無	8
53	11月28日	備前地域いちご栽培研修会	備前広域普及指導センター	研修会への出席と助言	有	1
54	12月4日	トビイロウンカに関する情報交換会	備前広域普及指導センター	研究会への出席と助言	無	1
55	12月5日	果樹研究会 モモ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	5
56	12月7日	岡山県植物病理セミナー	岡山大学等	研究会への出席と助言	有	4
57	12月12日	果樹研究会 ブドウ部会 ハウス分科会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	有	1
58	12月12日	令和元年度研究成果出前講座	岡山県(普及連携部)	講座への出席と助言	有	1
59	12月13日	果樹研究会温室ブドウ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	1
60	12月18日	岡山地方大型米麦研究会研修会	岡山地方大型米麦研究会	研修会への出席と助言	有	1
61	12月19日	令和元年度農薬効果確認圃成績検討会	県植防	研究会への出席と助言	無	2
62	12月20日	JA岡山西ぶどう部会総会	JA岡山西	研究会への出席と助言	有	1
63	12月23日	令和元年度トビイロウンカに関する意見交換会	岡山県(農産課)	研究会への出席と助言	無	4
64	1月10日	果樹研究会 ナシ部会	岡山県果樹研究会	研究会への出席と助言	無	2
65	1月27日	平成2年度スマート農業実証プロジェクトに係るコンソーシアム設立検討会議	岡山県(普及連携部)	研修会への出席と助言	無	2
66	1月31日	令和元年度農薬管理指導員認定研修会	岡山県(農産課)	研修会への出席と助言	有	1
67	2月4日	令和元年度無人航空機安全防除推進研修会	岡山県、岡山県植防	研究会への出席と助言	無	1
68	2月7日	令和元年度無人航空機安全防除推進研修会	岡山県・岡山県植防	研修会への出席と助言	無	2
69	2月18日	農業安全指導者講習会	県農業安全指導者協議会	講習会への出席と助言	有	1
70	2月25日	岡山県ブランドイチゴ研究会	岡山県(農産課)、全農岡山県本部	研究会への出席と助言	有	1
71	2月25日	吉備路水田農業大規模経営体ネットワーク第4回定例会	吉備路ネットワーク	研究会への出席と助言	有	1
72	3月5日	台湾向け生果実選果技術員研修及び選果梱包施設確認	岡山県(農産課)	研修会への出席と助言	有	1

受賞・表彰

外部受賞・表彰

年度	受賞・表彰名	内容
平成 29 年	BBB(Bioscience,Biotechnology,and Biochemistry)論文賞	Low Accumulation of Chlorogenic Acid Represser Reddening during Flesh Browning in Japanese Peach ‘Okayama PEH7’
	日本土壤肥料学雑誌論文賞	水稻栽培におけるアメダスメッシュ気象データを活用した被覆尿素の窒素溶出推定精度
平成 30 年	The Horticulture Journal 論文賞	Nondestructive Detection of Split Pit in Peaches Using an Acoustic Vibration Method.

職員表彰

年度	受賞・表彰名	内容
平成 29 年	農林水産部長表彰	促成栽培ナスの炭酸ガス施用による高品質増収技術開発グループ
		緑肥を用いた有機栽培米の安定生産技術の確立
平成 30 年	知事表彰	新たな果実袋の開発
令和元年	農林水産部長表彰	新たな地域特産農作物の育成支援グループ

農業研究所における共同研究実施課題

資料12

R2年6月1日現在

No	研究課題名	事業名等	研究期間	担当研究室グループ等	共同研究機関
1	主要農作物品種試験 (共同研究課題名:水稲品種「アケボノ」への病害虫抵抗性付与を目的としたDNAマーカー育種)	農業研究所研究費	S28～継 (R元～R2)	作物・経営研究室	農研機構次世代作物開発研究センター
2	スマート農業技術の開発・実証プロジェクト(赤磐スマート農業実証コンソーシアム)	農研機構:スマート農業技術の開発・実証プロジェクト	R元～R2	作物・経営研究室	岡山大学、クボタ、中四国クボタ、リモート・センシングセンター等
3	スマート農業技術の開発・実証プロジェクト(SDGs未来杜市・真庭スマート農業オープンラボ)	農研機構:スマート農業技術の開発・実証プロジェクト	R元～R2	作物・経営研究室	岡山大学、中四国クボタ、全農岡山県本部、JA等
4	良質苗木の安定生産技術の開発 (ブドウ)	農林水産省:農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究(現場ニーズ対応型プロジェクト)【大課題】果樹等の幼木期における安定生産技術の開発	R2～R6	果樹研究室	農研機構果樹茶業研、福岡県、長野県
5	急性枯死症状の発生要因の解明と対策技術の開発 (モモ)	農林水産省:農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究(現場ニーズ対応型プロジェクト)【大課題】果樹等の幼木期における安定生産技術の開発	R2～R6	果樹研究室 病虫研究室 環境研究室	農研機構果樹茶業研、東京農大、岩手県、福島県、愛知県、佐賀県
6	モモのオリジナル新品種の高品質安定生産技術の確立	農業研究所研究費	H24～R2	果樹研究室	テイカ株式会社
7	モモ収穫期を予測するDNAマーカーの開発	農総セ連携事業促進費:産学連携推進事業費(外部知見活用型・産学官連携事業)	R2～R4	果樹研究室	生物科学研究所
8	ドローンを用いたモモの栽培技術の研究	農業研究所研究費	R元～R2	果樹研究室	東京大学、福島大学
9	海外植物遺伝資源の民間等への提供促進	農林水産技術会議:戦略的プロジェクト研究推進事業	H30～R4	野菜・花研究室	農研機構野菜花き研究部門ほか
10	高精度な土壌水分制御を実現するスマート化で、一層輝く岡山ブランドナス	農総セ連携事業促進費:産学連携推進事業費(外部知見活用型・産学官連携事業)	R2～R3	野菜・花研究室	岡山大学
11	農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	農林水産省:生産環境総合対策事業	H25～R2	環境研究室	農研機構農業環境変動研究センターほか

視察受入状況

平成29年度（計61件、延べ1,094名）

No	受入月日	視察団体	人数	視察内容	対応研究室
1	4月11日	JAびほく有漢町マスカット部会	10	アレキ、シャインマスカットの栽培技術	果樹
2	4月10日	株式会社グリーンピア蒜山 道の駅「風の家」	45	研究所の概要、野菜花き試験研究内容、圃場見学	副所長、野菜花
3	4月17日	西条市禎端土地改良区	17	ジャンボタニシの駆除対策	病虫
4	5月8日	岡山地方施設ぶどう研究会	14	ピオーネ、シャインマスカットの栽培技術	果樹
5	5月17日	玉島北園芸協会ぶどう部会	23	ブドウの栽培技術	果樹
6	5月17日	山陽黄ニラ研究会	8	黄ニラ軟化栽培技術	野菜花
7	5月23日	JA岡山東 山陽ブドウ部会シャインマスカット研究班	22	シャインマスカットの栽培技術	果樹
8	5月23日	岡山大学農学部1回生（Ⅰ）	68	農研の研究概要、果樹、野菜の栽培技術	副所長、果樹、野菜花
9	5月30日	岡山大学農学部1回生（Ⅱ）	68	農研の研究概要、果樹、野菜の栽培技術	副所長、果樹、野菜花
10	5月31日	うまくだ（シャインマスカット品質対策会議参加者）	25	シャインマスカットの栽培技術	果樹
11	6月9日	JA倉敷かさや シャインマスカット研究会	22	シャインマスカットの栽培技術	果樹
12	6月28日	新宿高野（対外戦略室同行）	5	モモ、ブドウの栽培技術	果樹
13	6月13日	JAつやま八出果樹部会	14	モモ、ブドウの栽培技術	果樹
14	6月14日	岐阜県農政部農業経営課、農研、JA職員	6	モモ（おかやま夢白桃）の振興、普及、栽培技術	普及推進課、果樹
15	6月21日	JA勝英 英北ぶどう部会	15	露地ブドウの栽培技術	果樹
16	6月23日	JA勝英 豊久田温室ぶどう研究会	15	温室ブドウの栽培技術	果樹
17	6月23日	マーケットイン会議 講師（大果大阪 中田課長他）	3	果樹、野菜の栽培技術	果樹、野菜花
18	6月27日	岡山大輸出コンソ関連メンバー（岡大、久保田TR）	6	モモ、ブドウの栽培技術	果樹
19	7月4日	カフェコムサ（東京事務所、マーケティング推進室同）	9	モモ、ブドウの栽培技術	果樹
20	7月4日	谷村農園（滋賀県）	2	モモ、ナシの栽培技術	果樹
21	7月11日	JA真庭 久世ぶどう生産組合	14	ブドウの栽培技術	果樹
22	7月19日	作東上山営農組合ぶどう生産者	11	ブドウの栽培技術	果樹
23	7月19日	JA岡山南ぶどう部会	14	ブドウの栽培技術	果樹
24	6月30日	岡山県花き生産協会	60	リンドウの品種、栽培技術	高冷地
25	7月31日	井笠地域稲作経営体ネット	18	今後の稲作経営体の経営展開方向	作物・経営研究室
26	6月28日	新宿高野（対外戦略推進室、東京駐在同行）	5	モモ、ブドウの栽培技術	果樹
27	7月25日	JAつやま久米南ブドウ部会	14	ブドウの栽培技術	果樹
28	7月18日	種子担当者	31	原種・原原種栽培管理方法等	作物・経営研究室
29	7月25日	鏡野町営農組合等連絡協議会	19	集落営農の組織関連携等	作物・経営研究室
30	7月31日	日越親善協会、他民間会社2社	5	モモ、ブドウの栽培技術	果樹
31	8月1日	味香り戦略研究所	1	モモ、ブドウの栽培技術	環境、果樹
32	8月3日	JA真庭勝山ブドウ部会	21	ブドウの栽培技術	高冷地
33	8月22日	JA岡山東モモ部会赤坂支部	18	モモ新品種（岡山PEH7号）の品種特性、栽培技術	果樹
34	8月23日	津高温室ぶどう経営者クラブ	22	温室ぶどうの栽培技術	果樹
35	8月29日	倉敷地方農業技術者連絡協議会園芸部会	70	シャインマスカット（ハウス、簡易被覆）の栽培技術	果樹
36	9月4日	JA中野市平岡ぶどう部会	20	ブドウの栽培技術	果樹
37	9月6日	岡山県果樹研究会ブドウ部会	40	簡易被覆栽培ブドウの栽培技術	果樹
38	9月12日	JA阿新ぶどう部会豊永支部	14	簡易被覆栽培ブドウの栽培技術	果樹
39	9月15日	JA岡山灘崎ぶどう部会	10	簡易被覆栽培ブドウの栽培技術	果樹
40	9月19日	岡山県果樹研究会モモ部会	50	モモ新品種の栽培技術	果樹
41	9月12日	岡山地方施設ぶどう研究会	8	ブドウの栽培技術	高冷地
42	10月25日	宮崎県小林秀峰高等学校	4	野菜・花研究室の取り組み概要および施設見学	野菜・花
43	10月10日	中国山東省桃視察団	26	農業研究所の概要、岡山白桃の栽培技術	産学、農研
44	10月25日	長野県県議（農林）、議会事務局	15	農業研究所の概要、ブドウの栽培技術	産学、農研
45	11月28日	あら川の桃振興協議会	30	モモの栽培技術	果樹
46	11月15日	国際フルーツ協会代表者（うまくだ推進大会講師）他	2	果樹全般の栽培状況	果樹
47	11月9日	四万十市農業員会	23	水稲直播栽培等	作物・経営研究室
48	11月30日	山梨県果樹試験場研究員	1	モモ、ブドウの試験研究状況（栽培）	果樹
49	12月20日	北海道農政委員会	14	農業研究所の業務概要、ブドウ、イチゴ、スイートピー栽培	産学、農研
50	12月21日	兵庫県農技センター	6	ブドウの栽培技術	果樹
51	12月21日	全農おかやま	4	シャインマスカットの秋冬期出荷技術	果樹
52	1月15日	有田振興局内ブドウ生産者	6	ブドウ（シャインマスカット等）の栽培技術	果樹
53	1月16日	那賀振興局内モモ関係者	5	モモの果肉障害対策	果樹
54	2月22日	福山市新規就農者の会	10	ブドウの栽培技術、試験研究	果樹
55	3月2日	山梨県峡東農務事務所	2	ブドウ（シャインマスカット等）の栽培技術	果樹
56	2月20日	JA岡山いちご部会	10	イチゴの育成系統の栽培状況	野菜・花
57	2月1日	JA熊本市天敵勉強会	15	施設ナスの天敵を利用した栽培管理技術	野菜・花
58	2月27日	岡山あさか会	15	イチゴの育成系統の栽培状況	野菜・花
59	7月5日	JAまにわたトマト部会協議会	15	トマト試験状況の視察	高冷地
60	10月19日	JAはくいブドウ部会	25	シャインマスカットの栽培管理技術	高冷地
61	3月26日	ヤンマー倉敷ラボ	4	イチゴの育種方法	野菜・花

平成30年度（計47件、延べ1,175名）

No	受入月日	視察団体	人数	視察内容	対応研究室
1	4月10日	JAびほく有漢町マスクット部会	11	シャインマスクットの栽培技術	果樹
2	4月23日	新規就農者(備前広域普及)果樹園視察	38	ブドウの栽培技術	果樹
3	4月24日	備北ぶどう部会川上女性	33	モモ、ブドウの栽培技術	果樹
4	4月27日	岡山地方施設ぶどう研究会	7	「シャインマスクット」の加温栽培技術	果樹
5	5月2日	山陽女子高等学校(生徒、指導教諭)	2	農業研究所の業務について	副所長、野菜花
6	5月8日	JA岡山西 玉島北園芸協会ぶどう部会	20	ブドウの栽培技術	果樹
7	5月11日	温室農業協同組合吉尾分区	10	アレキ、シャインマスクットの栽培技術	果樹
8	5月15日	井笠地方農業士会	15	ブドウ、ラークスパー、アスパラガス視察	果樹・野菜花
9	5月15日	JA全農岡山など	18	アスパラガス品種の視察	野菜・花
10	5月22日	笠岡ぶどう部会	14	シャインマスクットの栽培技術	果樹
11	6月5日	岡山大学農学部1回生(Ⅰ)	62	農研の研究概要、果樹、野菜・花の栽培技術	副所長、果樹、野菜花
12	6月6日	阿新農協大根部会	3	ダイコンの栽培技術	高冷地
13	6月12日	岡山大学農学部1回生(Ⅱ)	62	農研の研究概要、果樹、野菜・花の栽培技術	副所長、果樹、野菜花
14	6月12日	JAつやま八出果樹部会	13	モモ、ブドウの栽培技術	果樹
15	6月14日	JA勝英 勝央町ぶどう部会	27	ブドウの栽培技術	果樹
16	6月19日	阿新農協モモ部会	30	モモ新品種の栽培管理	果樹
17	6月26日	美作地域くだもの王国地域推進隊主催研修会	29	オーロラブラック研修会	高冷地
18	6月28日	びほく農協契約野菜部会	16	ナス、アスパラガスの視察	野菜花
19	7月17日	平成30年度種子関係担当者会議	30	水稲・大豆品種試験圃場及び原原種、原種圃場	作物・経営
20	7月23日	JA阿新ぶどう部会	43	シャインマスクットの栽培技術	果樹
21	7月24日	JAつやま柘原ぶどう部会	34	簡易被覆栽培ブドウの栽培技術	果樹
22	7月26日	JAつやま久米南ぶどう部会	14	ハウス簡易被覆ブドウ栽培技術	果樹
23	7月26日	山口県農業技術職員協議会	11	リンドウ切除茎交配法	高冷地
24	8月1日	びほく農協ぶどう生産部会成羽支所	39	簡易被覆栽培ブドウの栽培技術	高冷地
25	8月7日	ヤングライスネットワーク第1回研修会	20	農研の研究概要、主要成果、品種試験、栽培試験	作物・経営、環境
26	8月9日	湯原ブドウ部会	12	ブドウの栽培技術	果樹
27	8月16日	種子担当者会議現地研修	30	品種試験概況及び原原種、原種生産方法	作物・経営
28	8月16日	平成30年鏡野町種子生産組合視察研修会	30	水稲・大豆品種試験圃場及び原原種、原種圃場	作物・経営
29	8月16日	JA岡山建部営農センター	20	ブドウの栽培技術および品質の向上	果樹
30	8月17日	上南米麦クラブ(JA岡山)	7	アケボノ安定多収	作物・経営
31	8月28日	岡山大学短期滞在研究員	14	ブドウ視察	果樹
32	8月28日	津高温室ブドウ経営者クラブ	18	マスクット、シャインマスクットの栽培技術	果樹
33	8月30日	勝央町モモ部会	22	白皇の栽培技術	果樹
34	9月5日	白皇・白露研修会(県、市町村、全農、JA、農家等)	120	白皇・白露の栽培技術	果樹
35	9月7日	JAまにわぶどう部会久世支部	12	簡易被覆栽培ブドウの栽培技術	高冷地
36	9月7日	岡山県温室園芸芸井地区	35	マスクット、シャインマスクット、紫苑の栽培技術	果樹
37	9月14日	高松農業高校農業科学科(1年生)	43	農研の研究概要、果樹、野菜・花の栽培技術	副所長、果樹、野菜花
38	9月19日	岡山大学短期滞在研究員	10	ブドウ視察	果樹
39	9月28日	全果連秋季会長会議視察	45	モモ、ブドウの栽培技術	果樹
40	10月5日	岡山県果樹研究会温室ブドウ部会	30	秋冬期出荷ブドウの栽培技術	果樹
41	10月5日	岡山市温室園芸振興協議会	35	温室ブドウの生産技術	果樹
42	10月11日	JA岡山ぶどう部会裳掛支部	15	秋冬期出荷ブドウの栽培技術	果樹
43	10月19日	花き生産4団体合同研究会	20	リンドウの品種育成、栽培技術	高冷地
44	10月30日	倉敷古城池高校(生物系コース、1年生)	22	農研の研究概要、果樹、野菜・花の栽培技術	副所長、果樹、野菜花
45	11月7日	JA岡山玉野花卉部会	13	スイートピーの品種育成、安定生産技術	野菜花
46	11/26~30	日本・アジア青少年サイエンス交流事業(江西省)	11	農研の研究概要、作物、果樹、野菜・花の技術交	副所長、作物・経営、果樹、野菜花、環境、病虫
47	12月14日	中国 内モンゴル自治区政府関係者	10	農研の研究概要、野菜・花の栽培技術	産学、副所長、野菜花

令和元年度（計54件、延べ1,371名）

No	受入月日	視察団体	人数	視察内容	対応研究室
1	4月2日	久米南町新農業経営者クラブ	25	ハウスシャインマスカットの栽培(房づくり)について	果樹
2	4月10日	びほく農協温室ぶどう生産部	9	ぶどうの栽培技術(房づくり)	果樹
3	4月23日	真備ぶどう生産組合	17	無加温栽培の「ピオーネ」の房づくり	果樹
4	4月24日	温室農業協同組合吉尾分区	5	「シャインマスカット」の栽培管理	果樹
5	5月10日	中国四国ブロック農業大学校長・同窓会代表者	20	高冷地研究室の試験研究内容	高冷地
6	5月10日	果研ブドウ部	60	1月加温シャインマスカットの栽培	果樹
7	5月14日	玉島北園芸協会ぶどう部会	20	ぶどうの栽培方法・技術	果樹
8	5月22日	岡山県立高松農業高校園芸科学部	15	ぶどうの栽培管理	果樹
9	5月30日	岡山東農協モモ部会	60	「白皇」の栽培管理	果樹
10	5月31日	倉敷かさや農協笠岡市シャインマスカット研究会	24	「シャインマスカット」の栽培管理	果樹
11	6月4日	西大寺高校教職員	3	農業研究所の業務内容、試験状況	副所長
12	6月7日	岡山東農協ブドウ部会	20	加温シャインマスカットの収穫前管理	果樹
13	6月13日	びほく農協トマト部会川上支部	25	トマト栽培管理	高冷地
14	6月18日	阿新農協モモ部会	18	モモ先進地視察(「白皇」の栽培管理)	果樹
15	6月18日	岡山大学農学部1年生	65	農業研究所見学	副所長、野菜花、果樹
16	6月25日	岡山大学農学部1年生	65	農業研究所見学	副所長、野菜花、果樹
17	6月18日	秋田県リンドウ栽培関係者	4	リンドウ栽培状況	高冷地
18	6月27日	津高温室ブドウ経営者クラブ	18	加温栽培の「シャインマスカット」の果房管理や施肥	果樹
19	6月28日	飯高高原ブドウ生産組合(島根県)	27	ぶどう視察研修	高冷地
20	7月2日	果研温室ブドウ部会	29	1月加温シャインマスカットの栽培、簡易被覆ブドウ	果樹
21	7月8日	岡山県温室園芸農業協同組合マルトウ分区	17	「マスカットジバンゲ」の果房管理	果樹
22	7月10日	長野県果樹試験場視察	1	ブドウの試験研究について	果樹
23	7月12日	リンドウ栽培研修会	62	リンドウ新品種「岡山RND4号」の開花状況	高冷地
24	7月18日	井原市新農業経営者クラブ	9	「シャインマスカット」の栽培管理	果樹
25	7月22日	久米南ブドウ部会	17	「シャインマスカット」の房作り	果樹
26	7月24日	真庭地域ブドウ研修会	70	ブドウ研究成果、栽培状況	高冷地
27	7月26日	赤磐市議他	6	農業研究所の業務内容、試験状況	副所長
28	8月2日	中四国ブロック農業大学校職員研修会	15	農業研究所の業務内容、試験状況	副所長
29	8月7日	日本生物教育会岡山大会現地研修	20	農業研究所の業務内容、試験状況	副所長、環境
30	8月19日	びほく農協ぶどう生産部会	78	「ピオーネ」、「オーロラブラック」の栽培管理	果樹
31	9月5日	長野県果樹試験場視察	3	ブドウの試験研究について	果樹
32	9月5日	モモ「白皇」、「白露」栽培研修会	97	「白皇」、「白露」の栽培技術	果樹
33	9月10日	果研ブドウ部会	43	秋冬期シャイン、簡易被覆ブドウ	果樹
34	9月12日	早島町直売所ふれあい青空市出荷者の会	40	野菜、花きの栽培方法	野菜・花
35	9月13日	玉野市雑穀生産組合	20	「備中夢白小豆」の栽培方法	作物・経営
36	9月13日	広島県普及指導員	5	水稲硫黄欠乏症対策技術	環境
37	9月17日	福島県果樹研究所	3	モモの低樹高栽培取り組みについて	果樹
38	9月19日	JA岡山備南地区米麦部会	10	多収性水稲品種の栽培管理	作物・経営
39	9月26日	果研モモ部会	36	新品種の栽培技術	果樹
40	10月3日	滋賀県農技センター	4	「シャインマスカット」の栽培について	果樹
41	10月4日	果研温室ブドウ部会	26	秋冬期シャイン、冷室のマスカットジバンゲ	果樹
42	10月8日	JA岡山東シャインマスカット研究班	30	「シャインマスカット」の高品質安定生産技術	果樹
43	10月24日	JA岡山東モモ部会	12	モモ新品種の栽培技術	果樹
44	10月29日	山梨県奥野田支所	11	「シャインマスカット」栽培について意見交換	果樹
45	11月11日	香川県立高松南高校1年生	37	農業研究所の業務内容、試験状況	副所長、野菜・花
46	11月19日	岡山地域ぶどう初心者講座受講者	23	「シャインマスカット」の高品質安定生産技術	果樹
47	11月22日	岡山白陵中学2年生	36	農業研究所の業務内容、試験状況	副所長、果樹、野菜・花
48	11月28日	勝央ぶどう部会	25	「シャインマスカット」の秋冬期出荷技術	果樹
49	12月5日	福岡県普及指導員	2	果物の鮮度保持技術	環境、果樹
50	1月10日	果研ナシ部会	13	ナシ品種のせん定	果樹
51	1月14日	玉島北青壮年部	20	モモの剪定技術	果樹
52	1月15日	阿新農協桃部会	21	モモの剪定技術	果樹
53	3月12日	JA岡山西くらしき東ブドウ部会	12	加温「シャインマスカット」の栽培技術	果樹
54	3月16日	津高農協温室ブドウ経営者クラブ	18	加温「シャインマスカット」の栽培技術	果樹

新聞掲載記事

資料 14

平成29年度

No	タイトル	報道・掲載日	掲載メディア
1	なし新品種「岡山PER1号」果実品質が良く栽培が容易	4月7日	全国農業新聞
2	営農技術情報:「リーキ」の県南地域における播種適期	5月13日	日本農業新聞
3	営農技術情報:県病害虫防除所 農作物の被害防止へ「発生予察」活用して	5月27日	日本農業新聞
4	営農技術情報:農業研究所が新技術を発信!	6月24日	日本農業新聞
5	海田園黒坂製茶最優秀賞に選ぶ:岡山県茶品評会	6月28日	山陽新聞
6	酸化チタンの働きで遮熱 果肉障害抑制へ導入 機能性果実袋 桃(岡山)	6月29日	日本農業新聞
7	岡山県茶品評会 表彰式:入賞7点たたえる	7月1日	日本農業新聞
8	12月出し「シャインマスカット」葉面積5000cm ² 超、葉色値は45超目安に	7月5日	全国農業新聞
9	営農技術情報:準高冷地でのオーロラブラック栽培	7月8日	日本農業新聞
10	開花始期にフルメット ブドウ「紫苑」房形見栄え良く	7月27日	日本農業新聞
11	岡山 愛媛 斑点米カメムシ類で注意報	7月28日	日本農業新聞
12	4年ぶり カメムシ類注意報 県「斑点米」被害を懸念	7月28日	山陽新聞
13	液剤でトマト裂果軽減 岡山県農業研究所が効能初確認	7月30日	山陽新聞
14	機能性果実袋やエテホン液剤 桃の果肉障害軽減 岡山県 4技術組み合わせ	8月1日	日本農業新聞
15	営農技術情報:ブドウ「ピオーネ」の施肥	8月12日	日本農業新聞
16	営農技術情報:農業研究所高冷地研究室	8月26日	日本農業新聞
17	トマト裂果に効果 JAまにわ部会協など フルメット使い改善	8月26日	日本農業新聞
18	桃王国の新品種 農家期待 岡山PEH7号 今年初出荷 収穫期延長 端境期に対応 新見で品評会	9月7日	読売新聞
19	桃の新品種導入を検討 切れ目ない出荷へ「極晩生」新見	9月7日	毎日新聞
20	営農技術情報:ビール大麦品種「スカイゴールド」播き遅れたらどのように管理する?	9月9日	日本農業新聞
21	桃の極晩生新品種「岡山PER7号」期待 作期分散し生産拡大 JA阿新 試験導入手応え	9月12日	日本農業新聞
22	上質な食味を確認 JA岡山 増産を目指す(岡山PER7号)	9月12日	日本農業新聞
23	岡山の農家開発「マスカットジパング」大粒新品種 岡山特産に 種なジューシー 安定栽培課題も	9月23日	山陽新聞
24	白皇、白露 桃2品種商標登録 岡山県 おくての主力に期待	10月26日	山陽新聞
25	桃に「白皇」「白露」岡山県新ブランド2種 19年以降本格出荷	10月26日	日経新聞
26	岡山白桃新品種「白皇」「白露」に 清水白桃しのぐ糖度、新ブランド期待	10月31日	産経新聞
27	営農技術情報:凍害守る新資材 かんなくず利用	10月28日	日本農業新聞
28	初秋にもぜひ白桃 県、「白皇」など2新種 商標登録	11月1日	読売新聞
29	桃「白皇」産地化めざす JA岡山東部会 研修重ね技術確立へ	11月11日	日本農業新聞
30	初秋に味わえる桃「白皇」「白露」誕生 県農業研究所が開発	11月17日	朝日新聞
31	土づくりコスト低減へ	12月6日	農業共済新聞
32	果物王国・岡山に新顔(大粒マスカット・おくて、冬の桃) 普及、ブランド化期待	1月4日	山陽新聞
33	新品種を商標登録 梨「晴香」と「備中夢白小豆」岡山県 県農業研が開発	1月28日	山陽新聞
34	ニューピオーネ推進大会 市場 期待の声続々 岡山・JAつやまブドウ連絡協(農研職員の講演)	2月25日	日本農業新聞

は、試験研究主要成果を中心に「営農技術情報」として農研が執筆

平成30年度

No	タイトル	報道・掲載日	掲載メディア
1	モモの果肉障害を軽減 岡山農水センターが4つの技術体系化	4月6日	日本農業新聞
2	うま味や甘味数値化 岡山県内3研究所専用機種で計測	4月15日	山陽新聞
3	モモせん孔細菌病 被害拡大の恐れ 県が注意報発令	4月21日	山陽新聞
4	酸化チタンで赤外線カット 機能性果実袋を製品化	5月8日	化学工業日報
5	営農技術情報 黒大豆 黒マルチ災害で所得向上	5月12日	日本農業新聞
6	夏秋トマト 収量落とさず裂果軽減する技術 天ピニール遮熱・フルメット処理	5月15日	開拓情報
7	営農技術情報 きぬむすめ 良食味米栽培 肥料の分施推奨	5月26日	日本農業新聞
8	営農技術情報 21の研究成果 公表 県農林水産総合センター農業研究所	6月23日	日本農業新聞
9	海田園黒坂製茶最優秀賞に選ぶ 岡山県茶品評会	6月28日	山陽新聞(朝)
10	リンドウ栽培増加 岡山県内 15年で面積2.3倍 最新機材導入産地も	6月28日	山陽新聞
11	海田園黒坂製茶に栄冠 岡山県茶品評会	6月30日	日本農業新聞
12	営農技術情報 裂果対策技術を開発(トマト)	7月14日	日本農業新聞
13	シュンギクでは根頭がんしゅ病 岡山県 発生予察特殊報	7月20日	日本農業新聞
14	営農技術情報 堆肥施用 増収・排水性もよく	7月28日	日本農業新聞
15	シャインマスカット 花穂慣行より2センチ短く 結実率14ポイント高まる	8月7日	日本農業新聞
16	高所作業減輕労化 「ひだ国府紅しだれ」台の桃 栽植数増やし収量安定	8月16日	日本農業新聞
17	営農技術情報 農業研究所高冷地研究室 生産性向上へ新技術開発	8月25日	日本農業新聞
18	桃「白皇」産地化へ 秋まで取扱量10%以上に JA岡山東便り	9月6日	日本農業新聞
19	「白皇」「白露」生産拡大へ 桃新品种の栽培研修会 赤磐	9月9日	山陽新聞
20	岡山産ブドウ宇宙へ こうのとりに搭載 飛行士「おいしい」	10月5日	山陽新聞
21	日本産「なんて美味!!」 宇宙飛行士が感激 ステーションに農産物を“配達”	10月10日	日本農業新聞
22	県産マスカット夢の“宇宙旅行” 打ち上げ延期4度 落胆のち歓喜 厳しい選定条件クリア	10月23日	朝日新聞
23	県産ブドウ宇宙でパクッ シャインマスカットISSへ 飛行士「デリシャス！」・ネット動画人気	10月25日	読売新聞
24	果樹・小麦など 今冬の栽培管理 暖冬予報に留意 生育早まり耐寒性が弱く	10月17日	農業共済新聞
25	リンドウ トルコギキョウ 岡山で特殊報 キオビトガリメイガ	11月7日	日本農業新聞
26	岡山で特殊報 リンドウ トルコギキョウ	11月7日	日本農業新聞
27	うまい桃作りへ産地一丸 岡山県うまいだもの推進大会	11月15日	日本農業新聞
28	「夢大納言小豆」良好 豪雨禍乗り越え出荷 岡山JA備北特産	12月22日	日本農業新聞
29	異例の冬、広範囲で乾燥 (タマネギべと病の防疫情報について)	1月31日	日本農業新聞
30	営農技術情報 トラップでカイガラムシ防除	2月23日	日本農業新聞
31	営農技術情報 桃 燃焼法で霜害防ごう	3月9日	日本農業新聞
32	タマネギべと病初の注意報 岡山県	3月26日	日本農業新聞
33	タマネギべと病初の注意報 岡山県	3月26日	山陽新聞

 は、試験研究主要成果を中心に「営農技術情報」として農研が執筆

令和元年度

No	タイトル	取材	報道・掲載日	掲載メディア
1	「モモせん孔細菌病」発生拡大の恐れ 県が注意報発令	無	4月24日	山陽新聞
2	病害虫 発生予報 岡山県(4月) 多＝モモせん孔細菌病	無	4月24日	日本農業新聞
3	ラークスパー普及に力 岡山県 優良系統産地導入	有	6月13日	山陽新聞
4	営農技術情報 岡山ブランド確立 新技術・品種を開発	無	6月22日	日本農業新聞
5	タバコミハムシ ナス被害初確認 岡山で特殊報	無	6月22日	日本農業新聞
6	第65回全日本花卉品種審査会 ラークスパー(春出し)の部・岡山県農水総合センター「カンヌホワイト」タキイ種苗 1等特	無	7月1日	日本種苗新聞
7	美作の浜田さん 最優秀賞に選ぶ 岡山県茶品評会	無	7月11日	山陽新聞
8	トマトの裂果対策に効果	有	7月12日	全国農業新聞
9	営農技術情報 県中北部の新技術開発	無	7月13日	日本農業新聞
10	営農技術情報 水稲アケボノの倒伏回避技術	無	8月10日	日本農業新聞
11	営農技術情報 モモせん孔細菌病の秋季防除の徹底を	無	8月24日	日本農業新聞
12	稲の防除徹底を	無	8月22日	日本農業新聞
13	トビイロウンカ注意報 5年ぶり早期駆除呼びかけ	無	8月22日	山陽新聞
14	トビイロウンカ大量発生の恐れ 防除対策など呼びかけ	無	8月23日	読売新聞
15	桃新品种「白皇」甘く大玉に JA岡山東 産地化へPR強化	無	8月21日	日本農業新聞
16	ツマジロクサヨトウ 岡山で食害確認	無	8月24日	日本農業新聞
17	トビイロウンカ発生多く稲作防除徹底を	有	9月7日	日本農業新聞
18	トビイロウンカ県2度目注意報	無	9月7日	山陽新聞
19	営農技術情報 スイートピーの秋～初冬落蕾防止 夜間冷房「8度」が効果	無	9月14日	日本農業新聞
20	トビイロウンカ21年ぶり警報発表 県中南部	無	9月25日	山陽新聞
21	トビイロウンカ防除徹底へ警報 岡山県	無	9月25日	日本農業新聞
22	営農技術情報 ブドウ「オーロラブラック」県最北部の栽培 冷涼生かし収益増	無	9月28日	日本農業新聞
23	オーロラブラック 大粒で色付き良く 岡山県農業研が新技術確立	有	9月26日	山陽新聞
24	新品种の品質向上に力(ナシ「晴香」の特長について説明あり)	無	10月9日	農業共済新聞
25	ドローンで生育診断 稲の栽培効率化へ実験 岡山県農業研	有	10月10日	山陽新聞
26	県産ブドウ再び宇宙へ こうのとり搭載 飛行士味わう 保存性アピール	無	10月12日	山陽新聞
27	アケボノ収量3割増へ 施肥調節倒伏防ぐ 岡山農研生育指針	有	10月17日	山陽新聞
28	枝豆用黒大豆の新品种 ウイルスに抵抗性 収穫期早く増産も	有	10月22日	山陽新聞
29	営農技術情報 飼料用米の安定多収試験 生育後半に窒素肥料を	有	10月26日	日本農業新聞
30	資材ナビ 果樹の若木 枯死防ぐ 凍害防止資材「ホワイトスネーク」	有	1月7日	日本農業新聞
31	営農技術情報 シャインマスカット結実安定へ花穂整形 開花直前に短く	無	1月25日	日本農業新聞
32	シャイン 開花遅い花穂除去 果実品質を維持 岡山県	有	1月29日	日本農業新聞
33	モモ8品種組み合わせ 所得を最大化 岡山県 普及員向けツール	有	1月31日	日本農業新聞
34	急な寒さに備えて 暖冬受け桃やブドウ	有	2月6日	山陽新聞
35	味や食感を数値で紹介 岡山県産白桃とブドウ 県農業研究所PR資料作成	有	2月20日	山陽新聞
36	巻き付けて凍害回避 ヒノキくずを生かした保護資材 持ち運びが楽 手早く設置	有	2月26日	農業共済新聞
37	営農技術情報 着色上げ高品質に 県育成の黒系ブドウ「オーロラブラック」	無	3月14日	日本農業新聞

は、試験研究主要成果を中心に「営農技術情報」として農研が執筆

資料 15

農業研究所ホームページ

(ホームページアドレス：<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/235/>)



●本文へ ●サイトマップ

文字サイズ変更 元に戻す
大きくする

文字色変更/音声読み上げ

岡山県ホーム [くらし・環境・観光](#) [健康・福祉](#) [教育・文化](#) [しごと・産業](#) [まちづくり](#) [県政情報](#)

●分野で探す ●組織で探す (直通電話番号一覧) ●カレンダーで探す

検索

トップページ > 組織で探す > 農林水産総合センター > 農業研究所

農業研究所



お知らせ

一覧

- 農業研究所ホームページで「令和元年度試験研究主要成果」が公開されました。(2020年7月1日更新)
- 農林水産総合センター農業研究所研究報告第10号を掲載しました (2020年5月22日更新)
- 平成30年度業務報告書(年報)を掲載しました (2019年10月1日更新)
- 平成30年度に開発した新技術を掲載しました (2019年7月31日更新)
- 農林水産総合センター農業研究所研究報告第9号を掲載しました (2019年6月20日更新)

農研トピックス

- 【試験紹介】 令和2年6月29日 モモ育種試験 パート3 「収穫及び果実品質調査」
- 【メディア情報】 令和元年6月27日 令和元年度試験研究主要成果が日本農業新聞で紹介されました
- 【栽培管理紹介】 令和2年6月17日 モモ「はなよめ」の収穫が始まりました
- 【栽培管理紹介】 令和2年5月30日 簡易被覆栽培の「ピオーネ」のホルモン処理を行いました
- 【試験紹介】 令和2年5月22日 ブドウの新品種育成を目指して、交配に向けた除雄を行いました
- 【栽培管理紹介】 令和2年5月17日 簡易被覆栽培の「シャインマスカット」にストレプトマイシン処理を行いました
- 【栽培管理紹介】 令和2年5月14日 清水白桃の部分マルチ敷設
- 【季節の写真】 令和2年5月14日 早苗と新緑の蒜山三座
- 【栽培管理紹介】 令和2年5月13日 真庭市蒜山でキャベツの定植が始まりました
- 【栽培管理紹介】 令和2年5月11日 「白皇」の仕上げ摘果
- 【試験紹介】 令和2年5月1日 モモ育種試験 パート2 「昨年度交配した実生の定植」
- 【栽培管理紹介】 令和2年4月27日 「白皇」の予備摘果
- 【季節の写真】 令和2年4月14日 真庭市蒜山でも桜が見頃を迎えました

● 関連情報

- ▶ 沿革と組織
- ▶ 施設とその配置
- ▶ 本所へのアクセス
- ▶ 高冷地研究室へのアクセス

● お問い合わせ

本所：

〒709-0801 岡山県赤磐市神田沖1174-1

高冷地研究室：

〒717-0603 岡山県真庭市蒜山東茅部1188

電話番号

代表電話/086-955-0271

作物・経営研究室/086-955-0275

果樹研究室/086-955-0276

野菜・花研究室/086-955-0277

環境研究室/086-955-0532

病虫研究室/086-955-0543

高冷地研究室/0867-66-2043

Fax番号 086-955-1914 (本所)

0867-66-3115 (高冷地研究室)

お問い合わせはこちらから

お問い合わせはこちらから



- ・【試験紹介】 令和2年4月7日 モモ育種試験 パート1 「モモの交配試験」
- ・【栽培管理紹介】 令和2年4月6日 モモ・ナシの防霜対策
- ・【試験紹介】 モモせん孔細菌病圃の薬剤に対する耐性の検定を行っています
- ・【栽培技術紹介・動画】 新規防寒資材の巻き付け方法について
- ・【試験紹介】 麦わらの連用が水稲の生育・収量に及ぼす影響を調査しています
- ・【試験紹介】 県産果実のおいしさの見える化PR資料及び素材集を作成しました
- ・【栽培技術紹介・動画】 モモの果肉障害の抑制を目的としたマルチの敷設方法
- ・農研トピックス過去情報の一覧（タイトルのみ）

視察・研修会の報告

- ・令和2年6月29日 「岡山県温室園芸農業協同組合マルトウ分区」がブドウ視察に来所
- ・令和2年6月26日 「津高温室ぶどう経営者クラブ」会員がブドウ視察に来所
- ・過去情報の一覧（タイトルのみ）

研究室の紹介

- ・作物・経営研究室
- ・果樹研究室
- ・野菜・花研究室
- ・環境研究室
- ・病虫研究室
- ・高冷地研究室

岡山県が育成した新品種

- ・育成品種一覧と現在登録のある品種・商標の紹介
- ・育成品種の利用許諾について

主な新技術の紹介

- ・平成30年度に開発した新技術
- ・平成29年度に開発した新技術
- ・平成28年度に開発した新技術
- ・平成27年度に開発した新技術
- ・平成26年度に開発した新技術
- ・平成25年度に開発した新技術
- ・平成24年度に開発した新技術

試験研究主要成果

- ・令和元年度試験研究主要成果
- ・平成30年度試験研究主要成果
- ・平成29年度試験研究主要成果
- ・平成28年度試験研究主要成果

- ・平成27年度試験研究主要成果
- ・平成26年度試験研究主要成果
- ・平成25年度試験研究主要成果
- ・平成24年度試験研究主要成果
- ・平成23年度試験研究主要成果
- ・平成22年度試験研究主要成果
- ・平成21年度試験研究主要成果
- ・平成20年度以前の試験研究主要成果

研究報告

- ・岡山県農林水産総合センター農業研究所研究報告（2010年～）
- ・岡山県農業総合センター農業試験場研究報告（1999年～2009年）
- ・岡山県立農業試験場研究報告（～1998年）

業務報告

- ・業務報告書（年報）

ジーンバンク事業

- ・ジーンバンク事業に関すること

主な仕事内容

岡山県農林水産総合センター農業研究所では、生産者や消費者のニーズを踏まえ、高品質で作りやすい県独自品種の育成や一層の高品質化、省エネ、省力・低コスト化、環境負荷軽減や温暖化に対応した新技術の開発を行っています。

○作物・経営研究室

作物の育種、栽培技術開発、奨励品種選定、原種ほ事業、農業経営の調査研究

○果樹研究室

果樹の育種、栽培技術開発

○野菜・花研究室

野菜及び花の育種、栽培技術開発

○環境研究室

農業生産基盤（土壌保全、土壌肥料、植物生理）及び農業環境保全に関わる技術開発、

○病虫研究室

農作物病虫害の診断、病害虫防除技術開発、病害虫発生予察事業

○高冷地研究室

高冷地における主要果樹、野菜、花きの育種及び栽培技術開発